



OM-108

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。

オムニコードは、ストラムプレートを備えた自動伴奏機能付きの電子楽器です。

オートハープという楽器の電子化を目指し 1981 年に開発いたしました。

本製品を末永く、そして安全にご使用いただくため、このマニュアルをよくお読みください。

- 本機を安全に正しくお使いいただくため、ご使用前に「安全上の注意」(54 ページ) および「使用上の注意」(57 ページ) を必ずお読みください。

目次

はじめに 2

本機の特長	2
付属品を確認する	2
別売アクセサリ	2
各部の名称と機能	3
トップパネル	3
サイドパネル	5
ボトムパネル	6

準備する 7

接続する	7
オーディオ機器や MIDI 機器を接続する	7
電源を接続する	8
電源を入れる、切る	10

演奏する 12

音を鳴らす	12
コードを演奏する	14
ストラムプレートを演奏する	17
リズムを鳴らす	19
機能を応用した演奏方法	21
コード、ストラムプレートの演奏	21
コード、ストラムプレート、リズムの演奏	22
コード、ベースの自動伴奏	23
ドラムイントロでの演奏	24
練習曲を演奏する	26
メロディ、打楽器音を演奏する	28
鍵盤、ドラムセットの割り当て	28
メロディを演奏する	30
打楽器音を鳴らす	30
キーボード機能に関する補足	31

さまざまな演奏機能 32

音程を調整する (マスターチューン)	32
半音ずつ移調する (トランスポーズ)	34
キーボードの音域を変更する (オクターブシフト)	36
OM-84 のリズム音色を再現する (クラシックモード)	37
MIDI	39
MIDI 送信項目を設定する	39
MIDI インフォメーション	40
ドラムマップ	43
MIDI インプリメンテーションチャート	44

設定する 45

オートパワーオフを有効、無効にする	45
-------------------	----

電池残量の表示設定	46
工場出荷時の設定に戻す	48

付録 49

ストラムプレートの音階配列	49
各音色の解説	50
困ったときは	51
ストラップピンの取付方法	52
主な仕様	53
安全上の注意	54
使用上の注意	57
アフターサービス	58

はじめに

本機の特長

オムニコードは、ハープセンサー（ストラムプレート）を備えた自動伴奏機能付きの電子楽器です。コードを選んだ状態でストラムプレートをスライド / タップすると、コードを構成する音（4 オクターブ）が鳴り、簡単に曲の伴奏ができます。

オートハープと呼ばれるコードボタン付き弦楽器の電子化を目指し 1981 年に誕生しました。1996 年発売の OM-300 を最後にオムニコードは製造を終了しましたが、独特のゆるい音色やデザインは根強い人気があり、ファンからの要望にお応えして OM-108 として復活させました。

- 本書で使用しているイラストは操作を説明するためのものです。実際の仕様とは異なる場合があります。

付属品を確認する

本製品には以下の付属品が同梱されています。

- スタートアップガイド / 保証書 ×1
- オーバーレイ ×1

別売アクセサリ

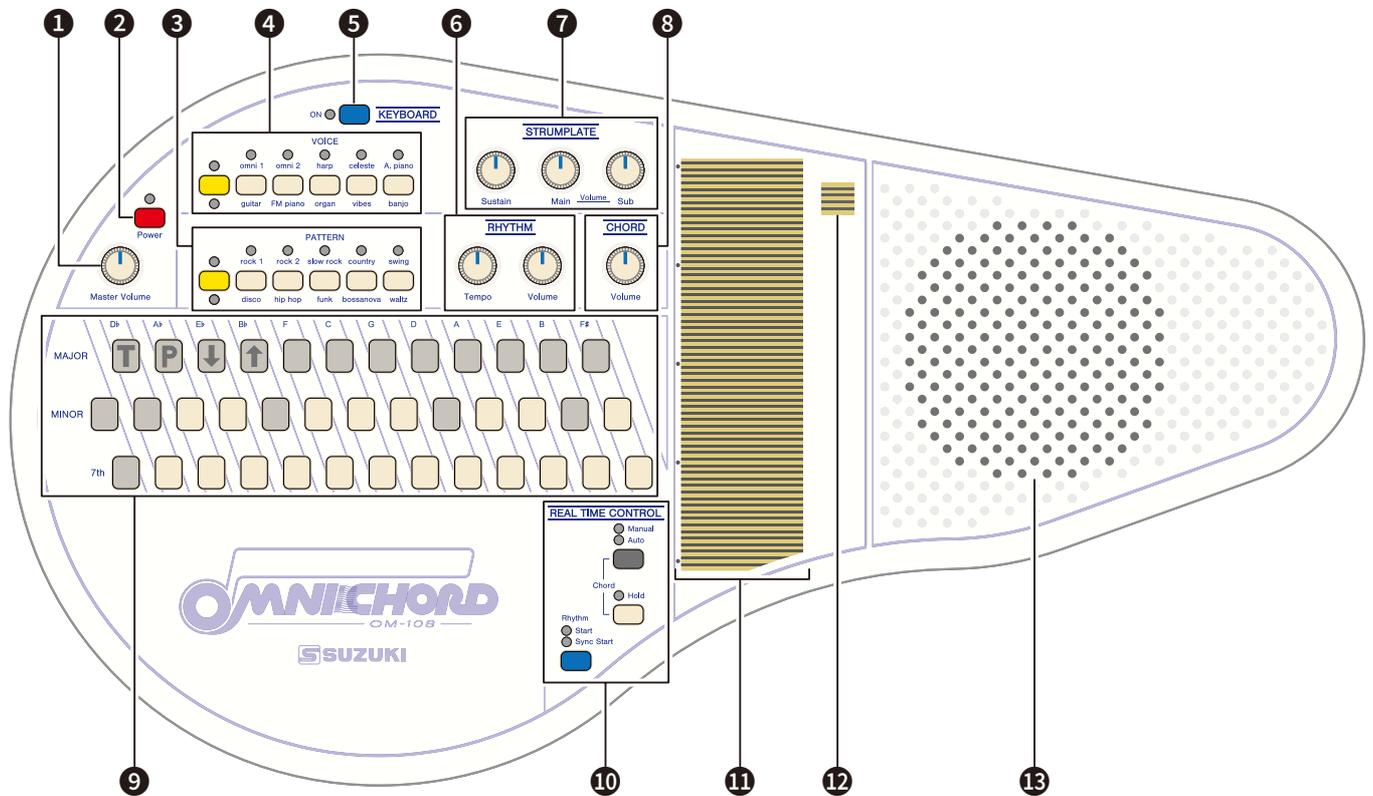
- AC アダプター : AD1-1210A
- ストラップピン : OSB-108

Tips

- ストラップピンを使用すると、市販のギターストラップを装着できます（52 ページ）。

各部の名称と機能

トップパネル



- ① **[Master Volume] つまみ**
全体の音量を調節します (10 ページ)。
- ② **[Power] ボタン**
電源を入れます / 切ります (10 ページ)。

Tips

- 乾電池を使用しているときは、Power ランプで電池残量を確認できます (8 ページ)。

- ③ **[PATTERN] ボタン**
リズムを切り替えます (19 ページ)。
左のボタン (黄色) で上下を切り替え、右 5 個のボタンでリズムを選択します。
- ④ **[VOICE] ボタン**
ストラムプレートの音色を切り替えます (17 ページ)。
左のボタン (黄色) で上下を切り替え、右 5 個のボタンで音色を選択します。
- ⑤ **[KEYBOARD (ON)] ボタン**
キーボード機能をオン / オフにします (30 ページ)。
オンのときは、コードボタンとストラムプレート / Instant OFF プレートが鍵盤 / ドラムセットとして機能します。
- ⑥ **[RHYTHM] つまみ**
リズムのテンポ / 音量を調節します (19 ページ)。
[Tempo] つまみ : リズムのテンポを調節します。
[Volume] つまみ : リズムの音量を調節します。

7 [STRUMPLATE] つまみ

ストラムプレートの音色 / 音量を調節します (17 ページ)。

[Sustain] つまみ : ストラムプレートの余韻の長さを調節します。

[Main Volume] つまみ : ストラムプレート (メインボイス) の音量を調節します。

[Sub Volume] つまみ : ストラムプレート (サブボイス) の音量を調節します。

8 [CHORD Volume] つまみ

コード / ベースの音量を調節します (24 ページ)。

9 コードボタン

コードを鳴らします (14 ページ)。

キーボード機能がオンのときは、鍵盤 / ドラムセットとして機能します (28 ページ)。

10 [REAL TIME CONTROL] ボタン

コードやリズムの演奏方法を切り替えます (21 ページ)。

ボタン	機能
[Chord Manual/Auto] ボタン	コード / ベース音の自動伴奏を有効 / 無効にします。 Manual: コード / ベース音の自動伴奏を無効にします。 Auto: コード / ベース音の自動伴奏を有効にします。選択したリズムに合わせてコード / ベース音が鳴ります。
[Chord Hold] ボタン	コードホールドを有効 / 無効にします。 有効 (ランプ点灯) : コードボタンから指を離しても、最後に押したコードボタンの選択状態 (コード音、自動伴奏) が維持されます。 無効 (ランプ消灯) : コードボタンから指を離すと、コード音と自動伴奏が消音します。
[Rhythm Start/Sync Start] ボタン	リズムが鳴るタイミングを切り替えます。 Start: 選択したリズムが鳴り続けます。 Sync Start: コードを演奏しているときだけ、選択したリズムが鳴ります。

11 ストラムプレート

スライドまたはタップして音を鳴らします (17 ページ)。

12 Instant OFF プレート

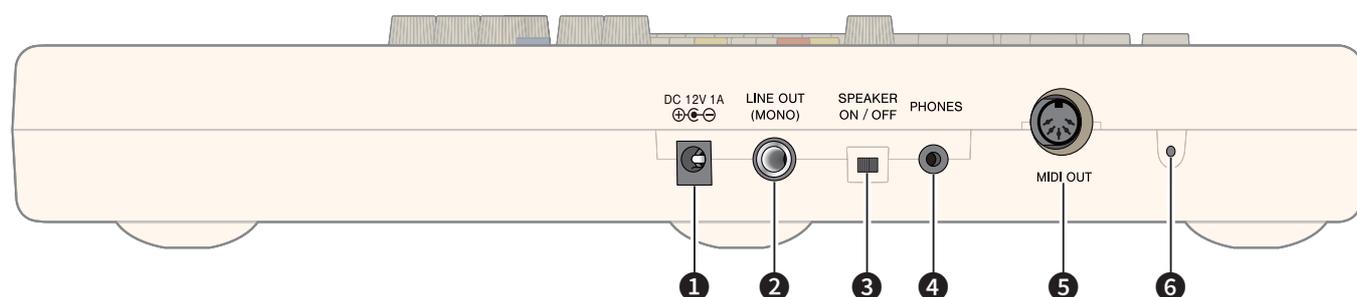
タップして演奏を停止します (12 ページ)。

Note

- [Rhythm Start/Sync Start] ボタンで「Start」を選択しているときは、リズムは停止しません。

13 スピーカー

サイドパネル



① DC12V/1A 端子

AC アダプター（別売）を接続します（9 ページ）。

② LINE OUT (MONO) 端子

オーディオ機器（パワードスピーカー、ミキサーなど）と接続して、本機の音声をオーディオ機器に出力します（7 ページ）。

③ [SPEAKER (ON/OFF)] スイッチ

LINE OUT (MONO) 端子にオーディオ機器が接続されている際に、本機のスピーカー出力をオン / オフに切り替えます（7 ページ）。

④ PHONES 端子

ステレオヘッドホン接続します（7 ページ）。

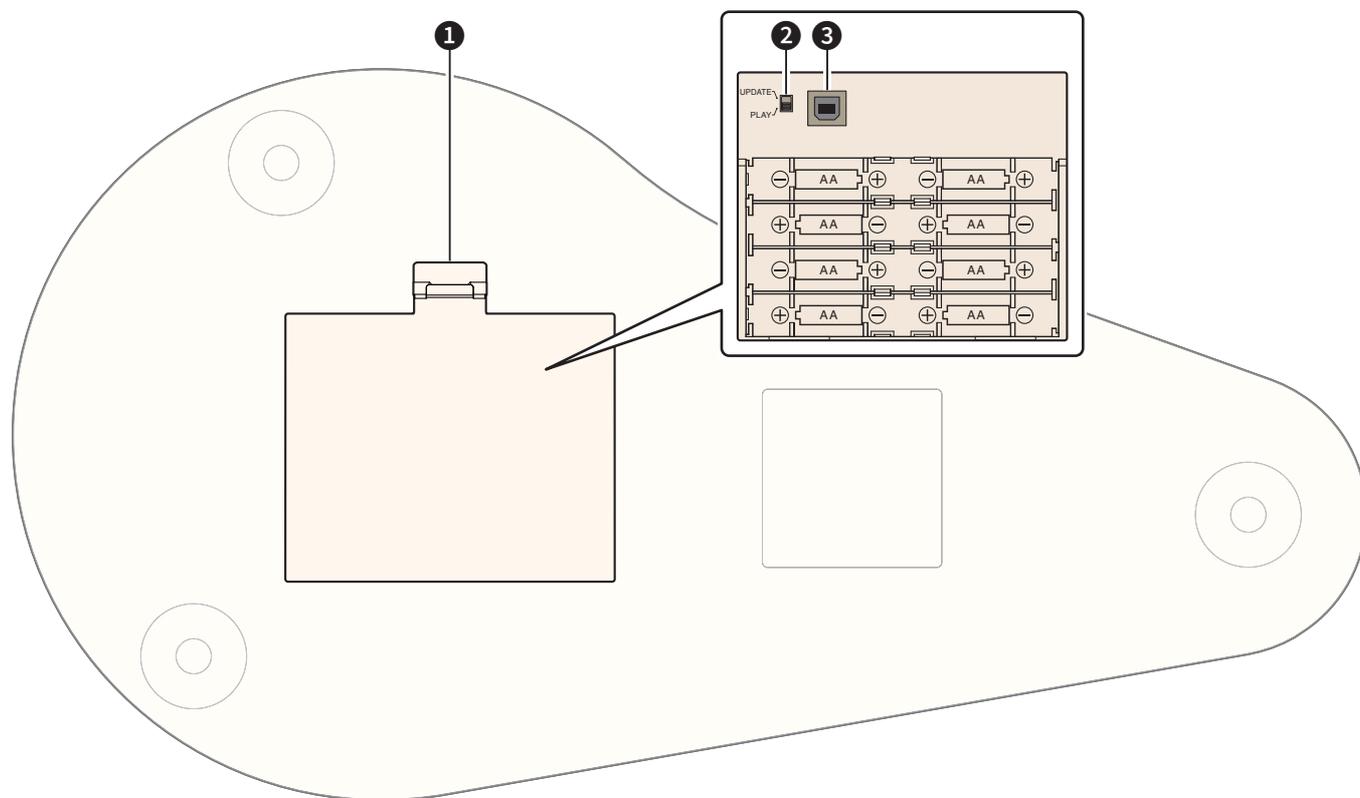
⑤ MIDI OUT 端子

MIDI 機器と接続して、MIDI データを送信します（7 ページ）。

⑥ ストラップピン取付穴

市販のギターストラップを装着する際に、ストラップピン（別売）を取り付けます（52 ページ）。

ボトムパネル

**① 電池ボックス**

単3形乾電池8本（別売）をセットします（8ページ）。

Note

- アルカリ乾電池の使用を推奨しますが、二次電池（Ni-MH）も使用できます。

② [UPDATE/PLAY] スイッチ

工場メンテナンス用のスイッチです。「PLAY」の位置から動かさないでください。

③ USB 端子

工場メンテナンス用の端子です。

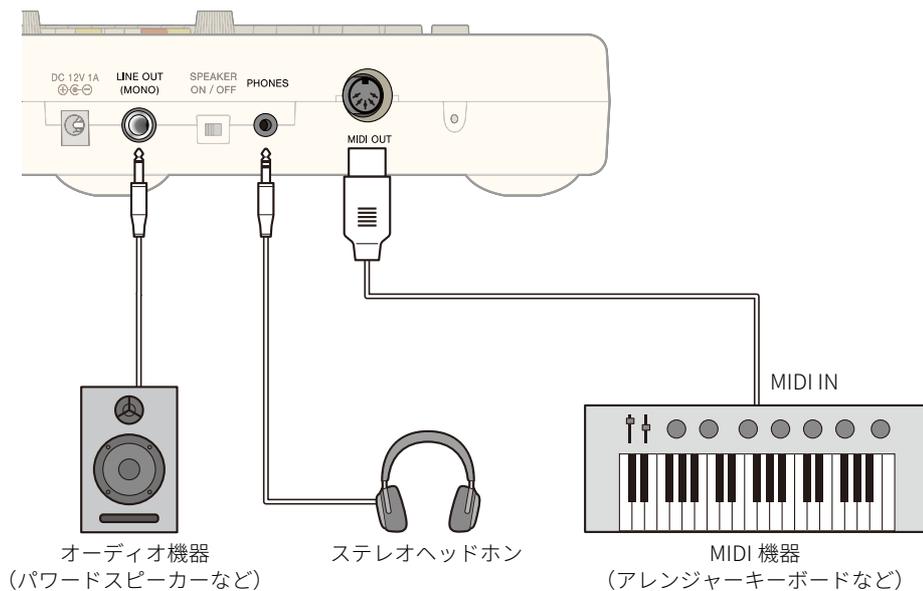
準備する

接続する

Note

- 外部機器を接続するときは、すべての機器の電源をオフにしてください。

オーディオ機器や MIDI 機器を接続する



LINE OUT(MONO) 端子

オーディオ機器（パワードスピーカー、ミキサーなど）と接続して、本機の音声をオーディオ機器に出力します。接続にはモノラルケーブル（6.35mm 標準プラグ）を使用します。

Tips

- 本機のスピーカーからも音声を出力するには、[SPEAKER (ON/OFF)] スイッチを「ON」にします。

PHONES 端子

ステレオヘッドホン（3.5mm ミニプラグ）を接続します。

Tips

- ヘッドホンを接続しているときは、スピーカーからは音声が出力されません。LINE OUT 端子からは音声が出力されます。

MIDI OUT 端子

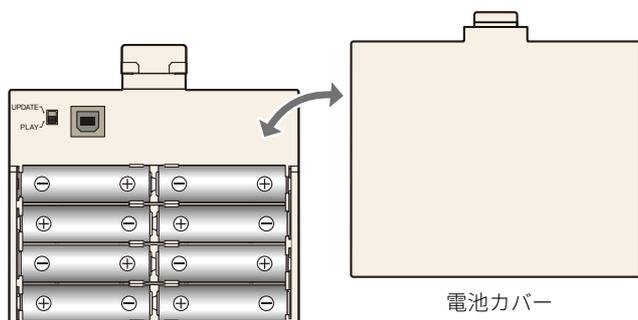
MIDI 機器（アレンジャーキーボードなど）と接続して、MIDI データを送信します。接続には MIDI ケーブルを使用します。

Note

- MIDI 機器側で MIDI 受信設定、本機で MIDI 送信設定を行ってください（39 ページ）。

電源を接続する

■ 乾電池を使用する



電池カバー

- 1 電池カバーを取り外し、単3形乾電池8本（別売）を正しい向きでセットする。
アルカリ乾電池の使用を推奨しますが、二次電池（Ni-MH）も使用できます。
- 2 電池カバーを取り付ける。

電池残量の目安

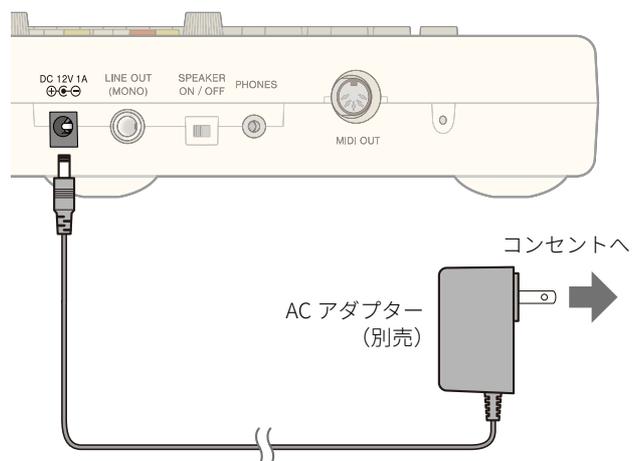
乾電池を使用しているときは、Power ランプで電池残量を確認できます。

Power ランプ	電池残量
 点灯（明るい） Power	多い
 点灯（暗い） Power	少ない
 点滅 Power	電池交換が必要

Note

- 二次電池（Ni-MH）の特性上、実際の電池残量より少なく認識されることがあります。二次電池（Ni-MH）を使用する場合や、二次電池使用後にアルカリ乾電池を使用する場合は、電池残量の表示設定を変更してください（46 ページ）。

■ AC アダプターを使用する

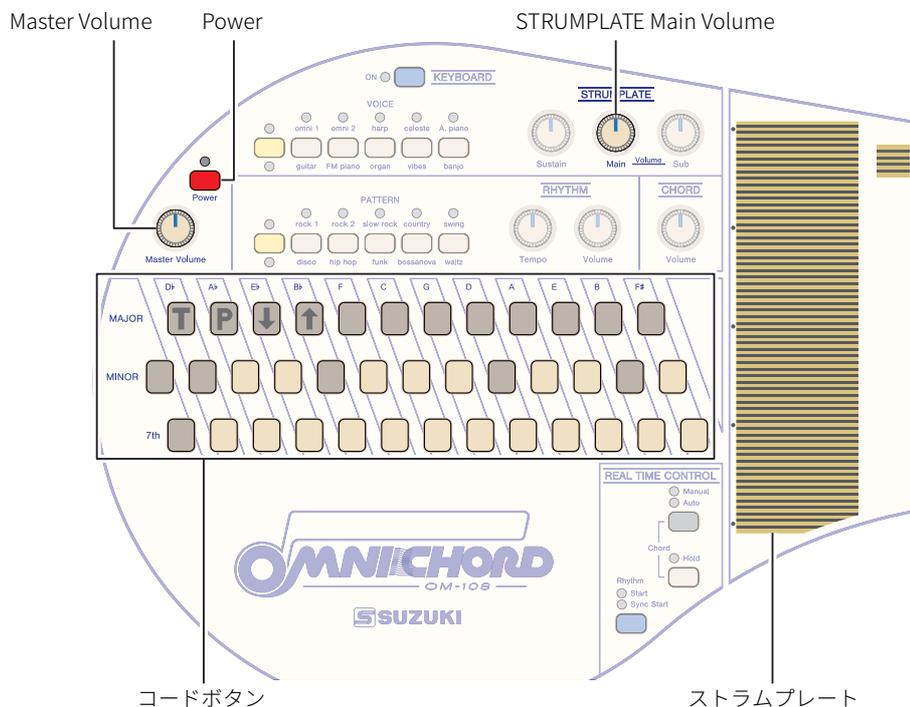


AC アダプターを DC12V/1A 端子に接続してから、コンセントに接続します。

Note

- AC アダプターを接続しているときは、乾電池がセットされていても AC アダプター経由の電源が優先されます。

電源を入れる、切る



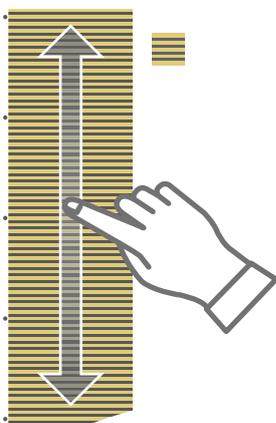
■ 電源を入れる

- 1 [Master Volume] つまみを左に回して音量を最小にする。
- 2 [Power] ボタンを押す。
電源が入り、Power ランプが点灯します。

Note

- 電源投入時にセンサーの校正が行われるため、ストラムプレートおよび Instant OFF プレートには触れないでください。

- 3 外部機器の電源を入れる。
- 4 任意のコードボタンを押し、ストラムプレートをスライドしながら [Master Volume] つまみをゆっくりと右に回して音量を調節する。



スライド

Note

- 音量を調節する際は、[STRUMPLATE Main Volume] つまみも調節して音が鳴る状態にしてください。

5 外部機器（パワードスピーカーなど）の音量を調節する。

■ 電源を切る

- 1 外部機器（パワードスピーカーなど）の音量を最小にする。**
- 2 外部機器の電源を切る。**
- 3 [Power] ボタンを 2 秒間押す。**
Power ランプが消灯し、電源が切れます。

Tips

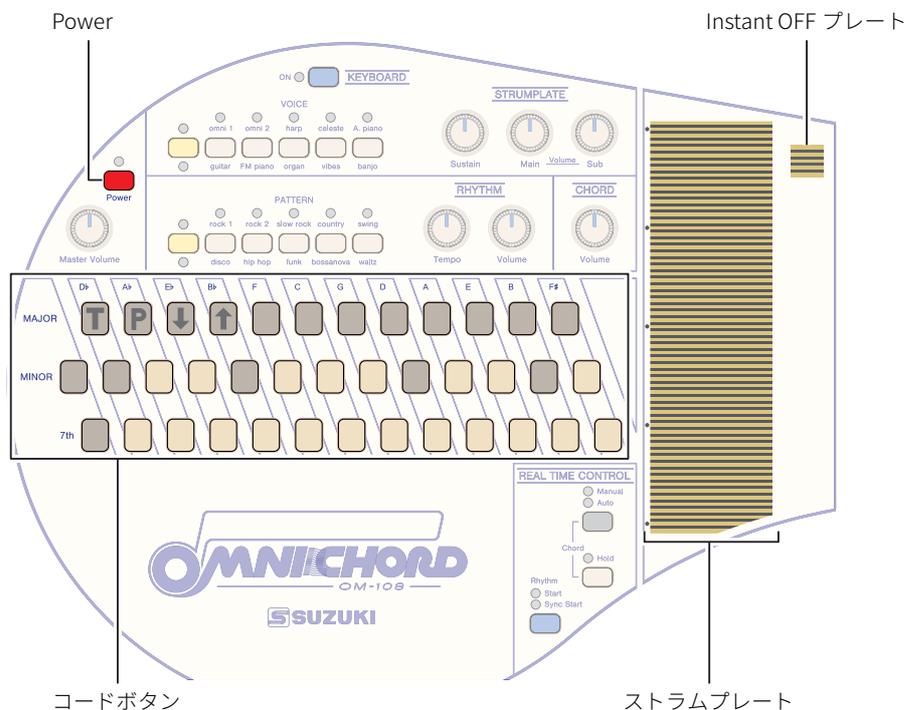
- 本機を 30 分間操作しないと自動的に電源が切れます（オートパワーオフ）。オートパワーオフの有効 / 無効を設定できます（45 ページ）。

Note

- 電源を切ると、すべてのボタンの選択状態が解除されます（以下の設定を除く）。
 - リズム音色の設定（クラシックモード）（37 ページ）
 - MIDI 送信設定（39 ページ）
 - オートパワーオフの設定（45 ページ）
 - 電池残量の表示設定（46 ページ）

演奏する

音を鳴らす

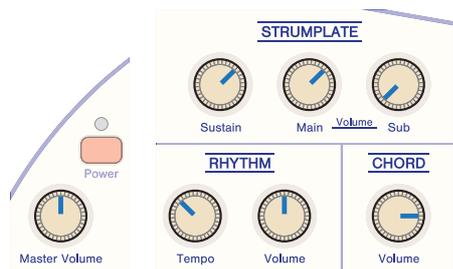


まずは音を鳴らしてみましょう。

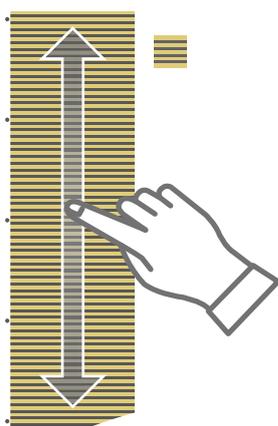
Tips

- 付属の「スタートアップガイド」にも同じ手順が記載されています。

- 1 [Power] ボタンを押す。
電源が入り、Power ランプが点灯します。
- 2 各つまみを以下の位置に調節する。

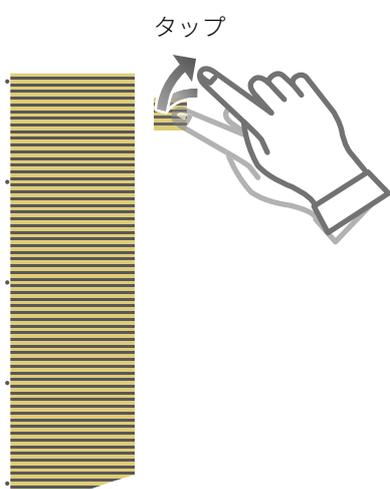


- 3 任意のコードボタンを押す。
- 4 ストラムプレートをスライドして音を鳴らす。

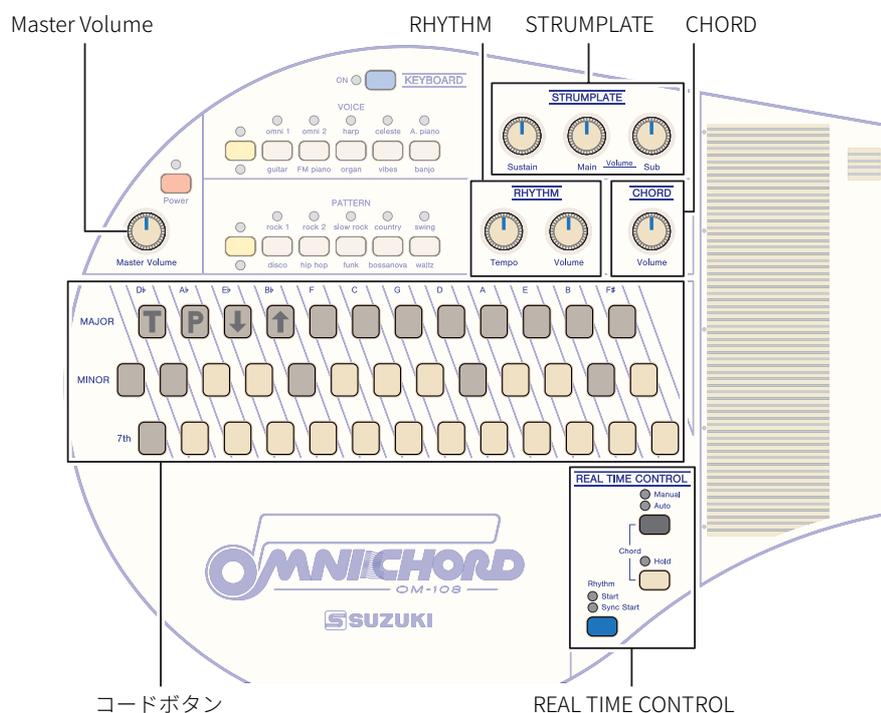


スライド

- 5 演奏を停止するには、Instant OFF プレートをタップする。



コードを演奏する



根音（ルート）と種類を組み合わせた 108 種類のコードを持続音で鳴らすことができます。

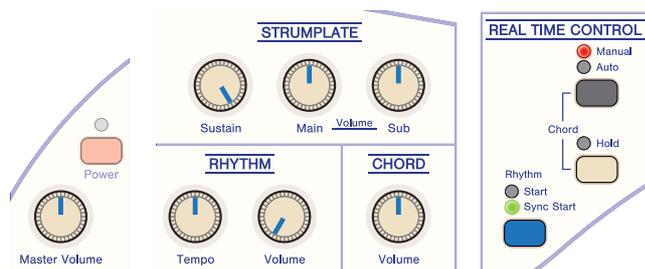
根音 : Db、Ab、Eb、Bb、F、C、G、D、A、E、B、F#

種類 : Major、minor、7th、Major 7th、minor 7th、Augmented、diminished、suspended 4th、add 9th

Note

- 本機はコードを 3 音で表現しています。7th、Major 7th、minor 7th、diminished コードの 5 度音程は発音しません。

1 各機能を以下のとおり設定する。



つまみ / ボタン		設定
[Master Volume]		中央
[STRUMPLATE]	[Sustain]	最大
	[Main Volume]	中央
	[Sub Volume]	中央
[RHYTHM]	[Tempo]	中央
	[Volume]	最小
[CHORD]	[Volume]	中央

つまみ / ボタン	設定
[REAL TIME CONTROL]	[Chord Manual/Auto] Manual
	[Chord Hold] 無効 (ランプ消灯)
	[Rhythm Start/Sync Start] Sync Start

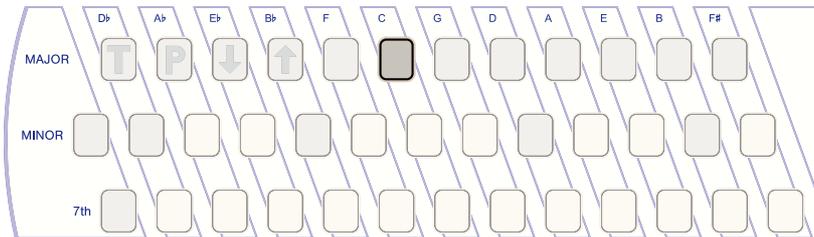
Tips

- コードを切れ目なく演奏したい場合は、[Chord Hold] ボタンでコードホールド機能を有効 (ランプ点灯) にしてください。

2 任意のコードボタン (1 ~ 3 個) を押す。

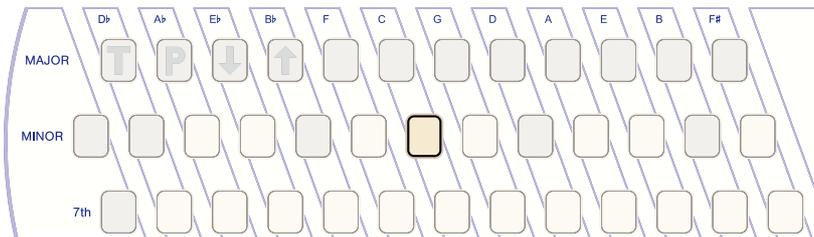
■ Major コード

(例: C) C-MAJOR のコードボタンを押す。



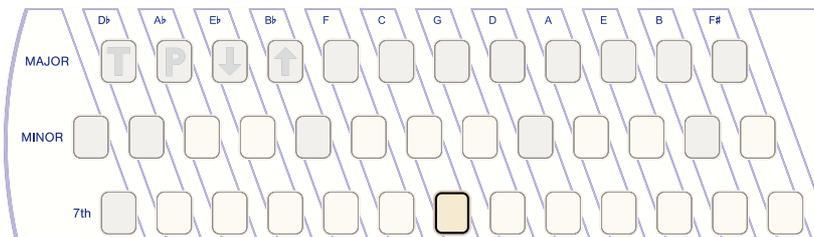
■ minor コード

(例: Cm) C-MINOR のコードボタンを押す。



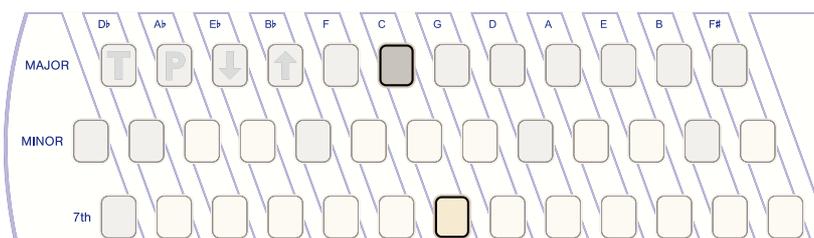
■ 7th (dominant 7th) コード

(例: C7) C-7th のコードボタンを押す。



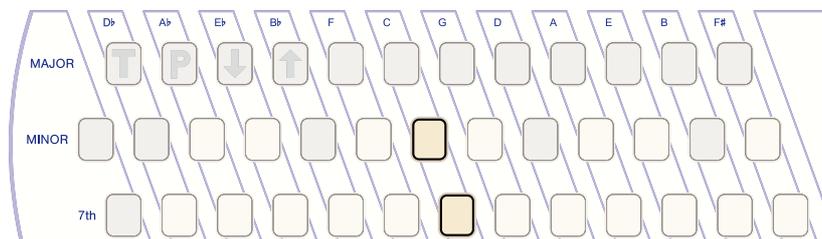
■ Major 7th (M7) コード

(例: CM7) C-MAJOR と C-7th のコードボタンを同時に押す。



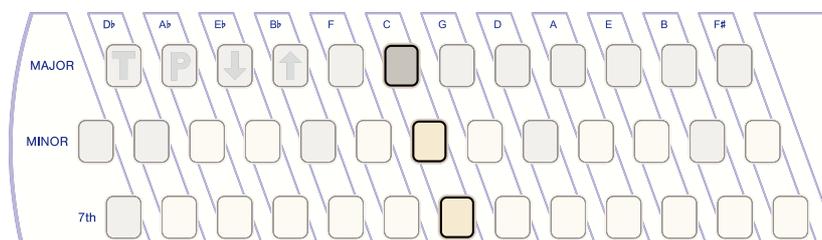
■ minor 7th (m7) コード

(例: Cm7) C-MINOR と C-7th のコードボタンを同時に押す。



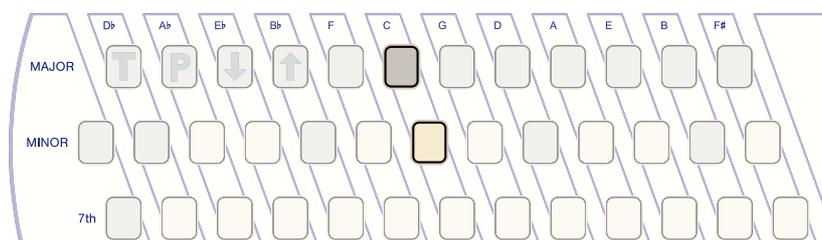
■ Augmented (aug) コード

(例: Caug) C-MAJOR、C-MINOR、C-7th のコードボタンを同時に押す。



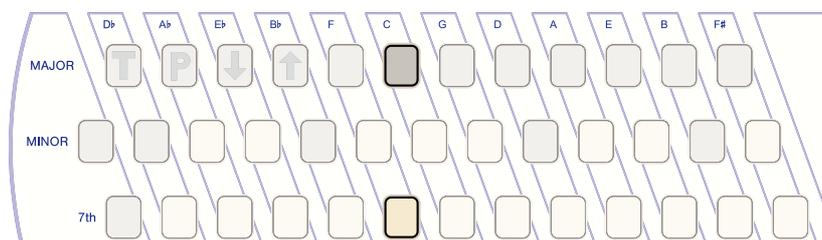
■ diminished (dim) コード

(例: Cdim) C-MAJOR と C-MINOR のコードボタンを同時に押す。



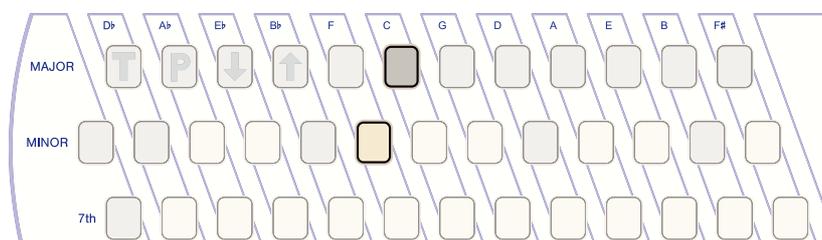
■ suspended 4th (sus4) コード

(例: Csus4) C-MAJOR と F-7th (C-7th の左) のコードボタンを同時に押す。

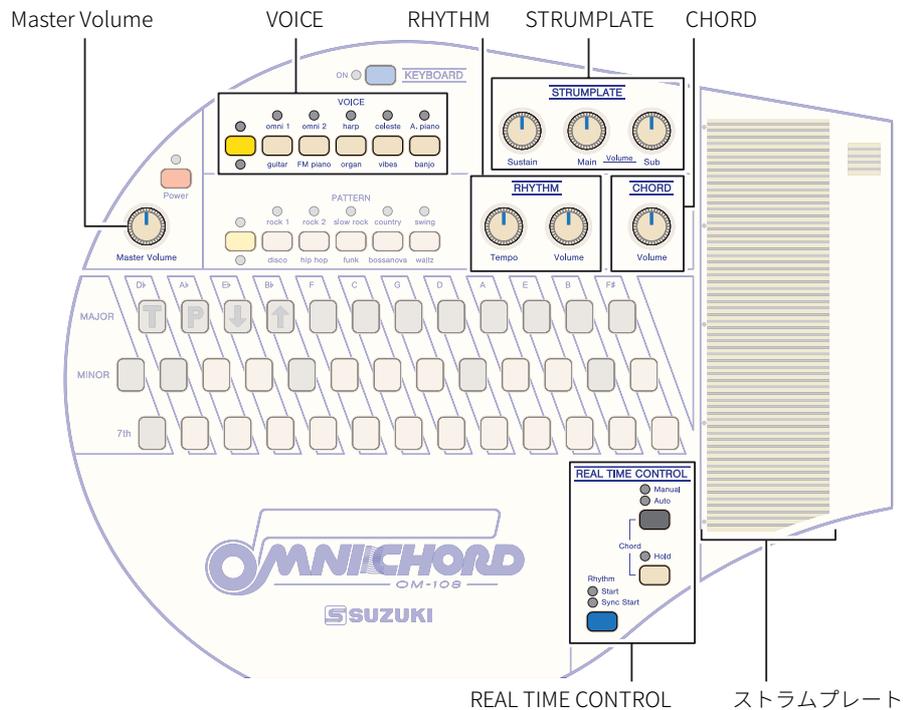


■ add 9th (add9) コード

(例: Cadd9) C-MAJOR と F-MINOR (C-MINOR の左) のコードボタンを同時に押す。

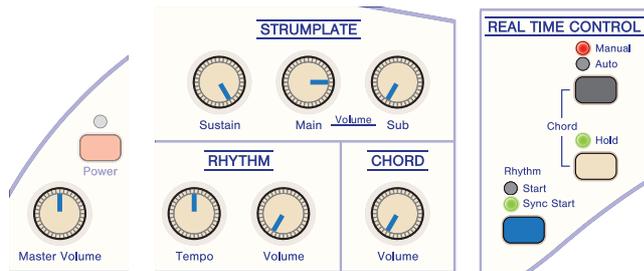


ストラムプレートを演奏する



ストラムプレートには選択したコードの構成音（4 オクターブ）が配置されます（49 ページ）。ストラムプレートをスライドまたはタップして演奏します。各音色は 2 種類の音色（メインボイス、サブボイス）から構成されており、そのバランスを調節することで好みの音色を創り出すことができます。メインボイスとサブボイスについて詳しくは、「各音色の解説」（50 ページ）をご覧ください。

1 各機能を以下のとおり設定する。

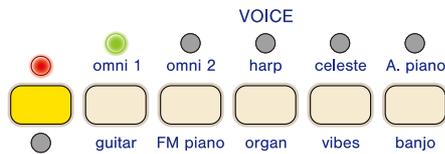


つまみ / ボタン		設定
[Master Volume]		中央
[STRUMPLATE]	[Sustain]	最大
	[Main Volume]	3 時
	[Sub Volume]	最小
[RHYTHM]	[Tempo]	中央
	[Volume]	最小
[CHORD]	[Volume]	最小
[REAL TIME CONTROL]	[Chord Manual/Auto]	Manual
	[Chord Hold]	有効（ランプ点灯）
	[Rhythm Start/Sync Start]	Sync Start

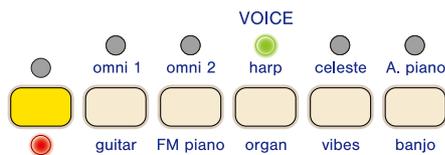
2 [VOICE] ボタンで音色を選ぶ。

左のボタン（黄色）で上下を切り替え、右 5 個のボタンで音色を選択します。

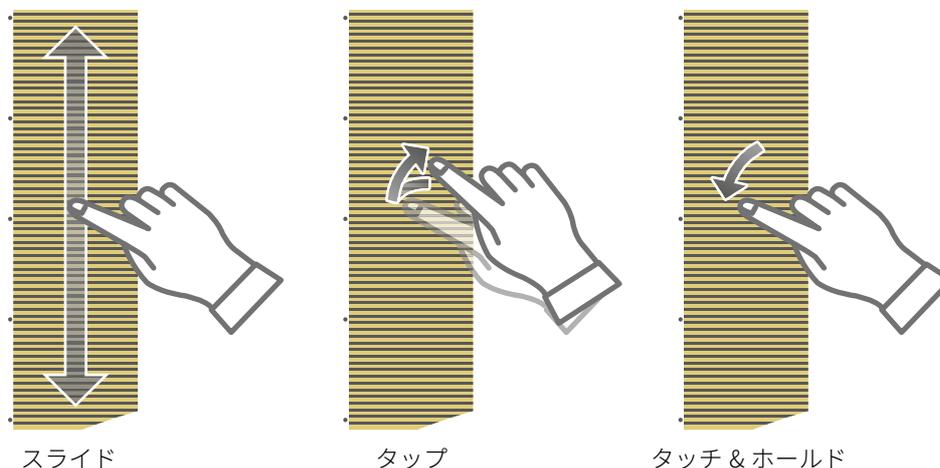
（例：omni1 を選択時）



（例：organ を選択時）



3 任意のコードボタンを押し、ストラムプレートをスライドまたはタップして音を鳴らす。

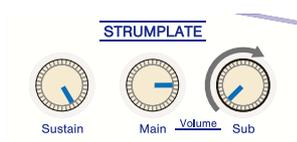


Tips

- ストラムプレートの操作により音の鳴り方が変わります。
スライド：コードストロークが鳴る。
タップ：単音が鳴る。（連続タップによりリズムカルなアルペジオの演奏ができる。）
タッチ & ホールド：持続音が鳴る。

4 [STRUMPLATE Sub Volume] つまみでサブボイスの音量を調節する。

サブボイスの音量を上げるとメインボイスに徐々に重なっていき、華やかな音色に変化します。



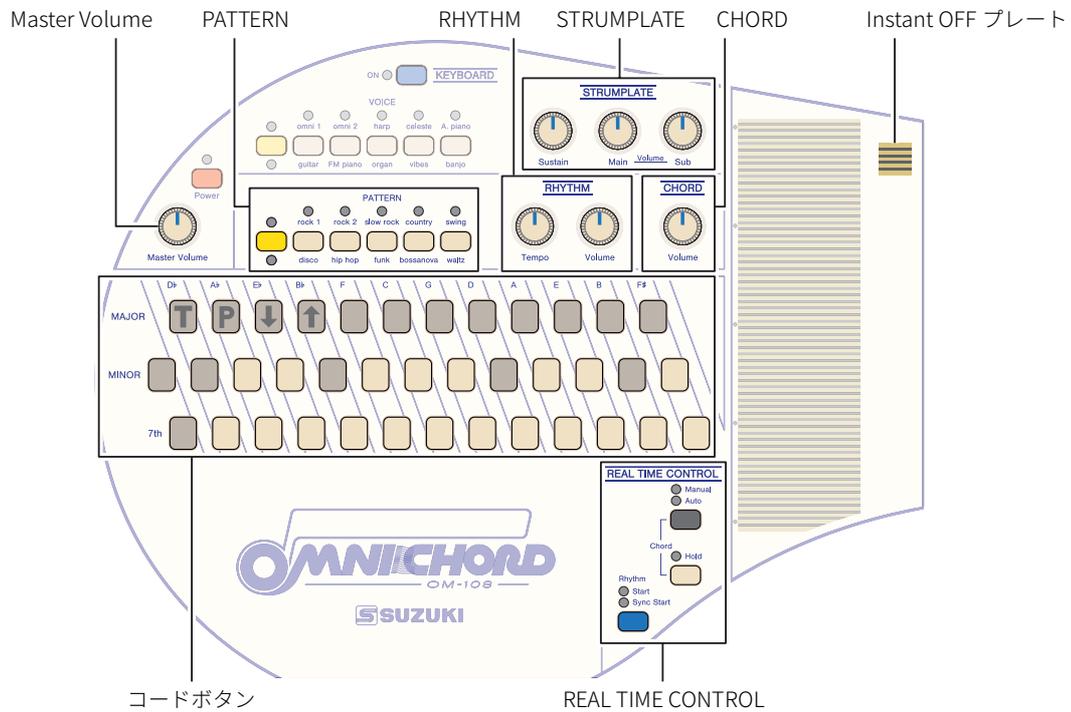
Tips

- メインボイスを最小にすると、サブボイスの音色のみで演奏できます。

5 [STRUMPLATE Sustain] つまみで音色の余韻を調節する。

音色の余韻はメインボイスとサブボイスの両方に反映されます。個別に設定することはできません。

リズムを鳴らす

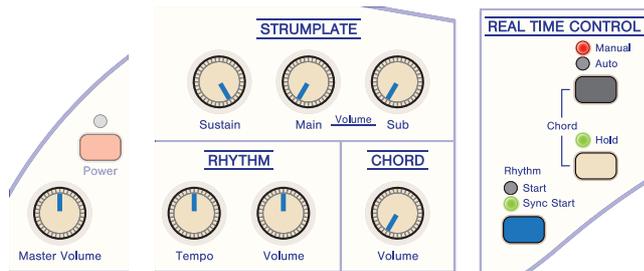


10 パターンのリズムから好みのリズムを選び、速さを調節します。

Tips

- 旧モデル「OM-84」のリズム音色を再現することができます（クラシックモード）（37 ページ）。

1 各機能を以下のとおり設定する。

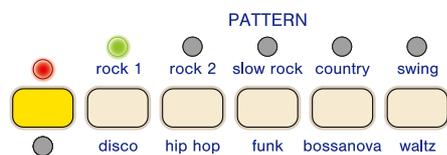


つまみ / ボタン		設定
[Master Volume]		中央
[STRUMPLATE]	[Sustain]	最大
	[Main Volume]	最小
	[Sub Volume]	最小
[RHYTHM]	[Tempo]	中央
	[Volume]	中央
[CHORD]	[Volume]	最小
[REAL TIME CONTROL]	[Chord Manual/Auto]	Manual
	[Chord Hold]	有効（ランプ点灯）
	[Rhythm Start/Sync Start]	Sync Start

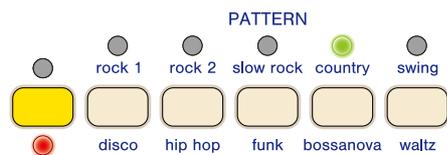
2 [PATTERN] ボタンでリズムを選ぶ。

左のボタン（黄色）で上下を切り替え、右 5 個のボタンでリズムを選択します。

（例：rock1 を選択時）



（例：bossanova を選択時）



3 任意のコードボタンを押す。

選択したリズムが再生されます。

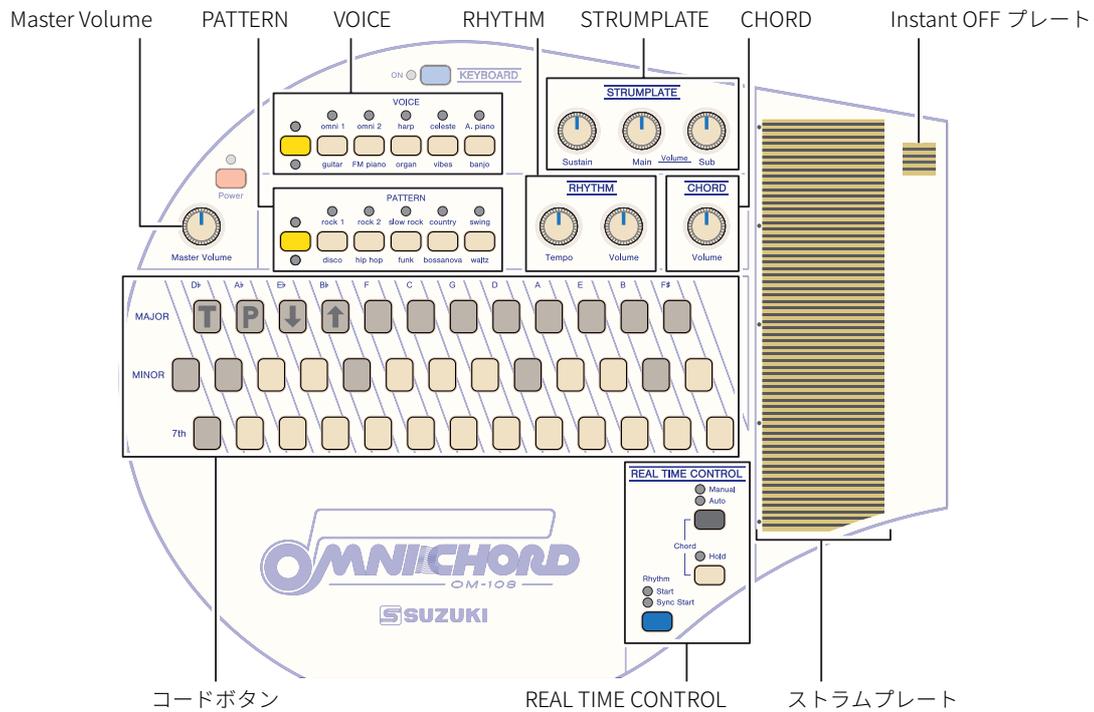
Note

- リズムの再生中に別のリズムを選択した場合、現在の小節が終わってからリズムが切り替わります。

4 [RHYTHM Tempo] つまみでテンポを調節する。

5 リズムの再生を停止するには、Instant OFF プレートをクリックする。

機能を応用した演奏方法



コード、ストラムプレート、リズムや [REAL TIME CONTROL] ボタンの機能を組み合わせることで、さまざまな演奏表現が可能になります。ここでは代表例を紹介します。

コード、ストラムプレートの演奏

持続するコード音とストラムプレートのアンサンブルを一人で行えます。曲の冒頭やフリーテンポでの演奏に効果的です。

1 各機能を以下のとおり設定する。



つまみ / ボタン		設定
[Master Volume]		中央
[STRUMPLATE]	[Sustain]	最大
	[Main Volume]	3時
	[Sub Volume]	3時
[RHYTHM]	[Tempo]	中央
	[Volume]	最小
[CHORD]	[Volume]	中央

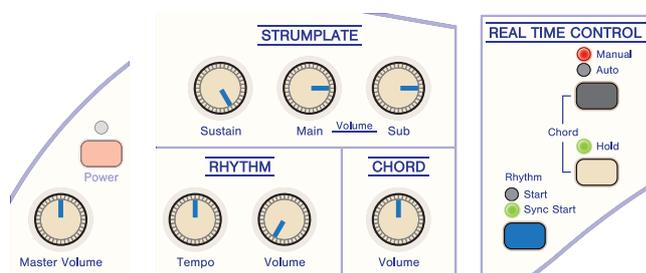
つまみ / ボタン	設定
[REAL TIME CONTROL]	[Chord Manual/Auto] Manual
	[Chord Hold] 有効 (ランプ点灯)
	[Rhythm Start/Sync Start] Sync Start

- [VOICE] ボタンで音色を選ぶ (17 ページ)。
- 任意のコードボタンを押しながら、ストラムプレートを弾く。
コードとストラムプレートの音が重なって鳴ります。
- 演奏を停止するには、Instant OFF プレートをクリックする。

コード、ストラムプレート、リズムの演奏

リズムを鳴らしながら、コードとストラムプレートのアンサンブルを一人で演奏できます。

- 各機能を以下のとおり設定する。



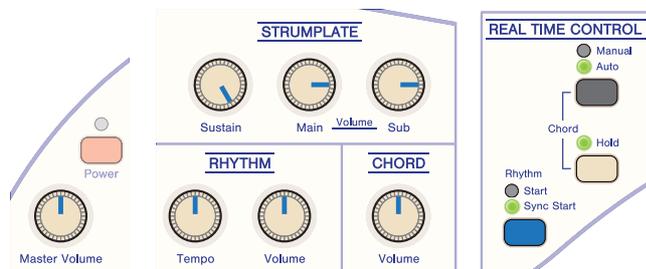
つまみ / ボタン	設定
[Master Volume]	中央
[STRUMPLATE]	[Sustain] 最大
	[Main Volume] 3 時
	[Sub Volume] 3 時
[RHYTHM]	[Tempo] 中央
	[Volume] 最小
[CHORD]	[Volume] 中央
[REAL TIME CONTROL]	[Chord Manual/Auto] Manual
	[Chord Hold] 有効 (ランプ点灯)
	[Rhythm Start/Sync Start] Sync Start

- [VOICE] ボタンで音色を選ぶ (17 ページ)。
- [PATTERN] ボタンでリズムを選ぶ (19 ページ)。
- 任意のコードボタンを押す。
コード音が鳴ります。
- [RHYTHM Volume] つまみでリズムの音量を少しずつ上げる。
リズム音が徐々に加わっていきます。
- [RHYTHM Tempo] つまみでテンポを調節する。
- 任意のコードボタンを押しながら、ストラムプレートを弾く。
- 演奏を停止するには、Instant OFF プレートをクリックする。

コード、ベースの自動伴奏

リズムに合わせてベースラインやコードカッティングを自動的に行ってくれる自動伴奏に、ストラムプレートの演奏を加えます。本機のもっとも豪華なプレイスタイルです。

1 各機能を以下のとおり設定する。



つまみ / ボタン		設定
[Master Volume]		中央
[STRUMPLATE]	[Sustain]	最大
	[Main Volume]	3時
	[Sub Volume]	3時
[RHYTHM]	[Tempo]	中央
	[Volume]	中央
[CHORD]	[Volume]	中央
[REAL TIME CONTROL]	[Chord Manual/Auto]	Auto
	[Chord Hold]	有効 (ランプ点灯)
	[Rhythm Start/Sync Start]	Sync Start

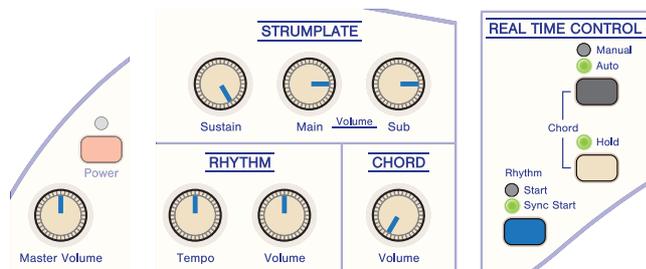
- 2 [VOICE] ボタンで音色を選ぶ (17 ページ)。
- 3 [PATTERN] ボタンでリズムを選ぶ (19 ページ)。
- 4 任意のコードボタンを押す。
選択したリズムに合わせて、コードとベースの自動伴奏が始まります。
- 5 [RHYTHM Tempo] つまみでテンポを調節する。
- 6 任意のコードボタンを押し、ストラムプレートを弾く。
- 7 演奏を停止するには、Instant OFF プレートをクリックする。

ドラムイントロでの演奏

ドラム（リズム）のみの前奏から曲の演奏を開始します。ここでは2つの方法を紹介します。

■ フェードイン（コード / ベース）

1 各機能を以下のとおり設定する。

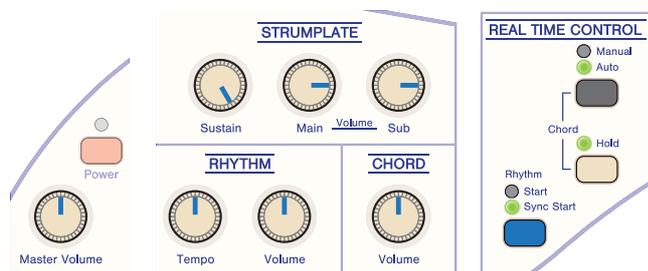


つまみ / ボタン		設定
[Master Volume]		中央
[STRUMPLATE]	[Sustain]	最大
	[Main Volume]	3時
	[Sub Volume]	3時
[RHYTHM]	[Tempo]	中央
	[Volume]	中央
[CHORD]	[Volume]	最小
[REAL TIME CONTROL]	[Chord Manual/Auto]	Auto
	[Chord Hold]	有効（ランプ点灯）
	[Rhythm Start/Sync Start]	Sync Start

- 2 [VOICE] ボタンで音色を選ぶ（17 ページ）。
- 3 [PATTERN] ボタンでリズムを選ぶ（19 ページ）。
- 4 前奏に使用するコードのコードボタンを押す。
ドラムの前奏が始まります。
- 5 [CHORD Volume] つまみでコード / ベースの音量を少しずつ上げる。
コード / ベース音が徐々に加わっていきます。

■ ドラムイントロからコード / ベースを一斉に加える

1 各機能を以下のとおり設定する。



つまみ / ボタン		設定
[Master Volume]		中央
[STRUMPLATE]	[Sustain]	最大
	[Main Volume]	3 時
	[Sub Volume]	3 時
[RHYTHM]	[Tempo]	中央
	[Volume]	中央
[CHORD]	[Volume]	中央
[REAL TIME CONTROL]	[Chord Manual/Auto]	Auto
	[Chord Hold]	有効 (ランプ点灯)
	[Rhythm Start/Start]	Sync Start

2 [VOICE] ボタンで音色を選ぶ (17 ページ)。

3 [PATTERN] ボタンでリズムを選ぶ (19 ページ)。

4 [Rhythm Start/Start] ボタンを押して「Start」に切り替える。
ドラムの前奏が始まります。

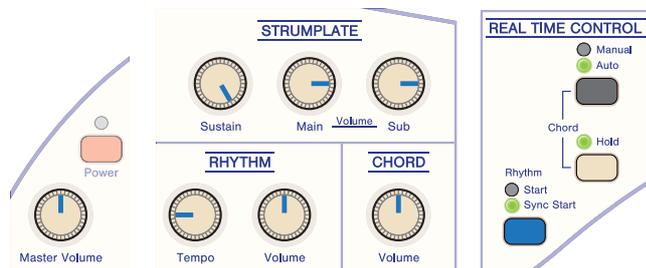
5 任意のコードボタンを押す。
コード / ベース音が一斉に加わります。

Note

- 演奏を停止するには、[Rhythm Start/Start] ボタンで「Sync Start」を選択してから Instant OFF プレートをタップしてください。「Start」を選択しているときは、Instant OFF プレートで演奏を停止できません。

練習曲を演奏する

1 各機能を以下のとおり設定する。



つまみ / ボタン		設定
[Master Volume]		中央
[STRUMPLATE]	[Sustain]	最大
	[Main Volume]	3 時
	[Sub Volume]	3 時
[RHYTHM]	[Tempo]	9 時
	[Volume]	中央
[CHORD]	[Volume]	中央
[REAL TIME CONTROL]	[Chord Manual/Auto]	Auto
	[Chord Hold]	有効 (ランプ点灯)
	[Rhythm Start/Start]	Sync Start

Tips

- 最初はリズムのテンポを遅めに設定し、慣れてきたら速めてください。

- 2** [VOICE] ボタンで音色を選ぶ (17 ページ)。
- 3** [PATTERN] ボタンでリズムを選ぶ (19 ページ)。
この練習曲には「rock1」がお勧めです。
- 4** 演奏を始める。
- 5** 演奏を停止するには、Instant OFF プレートをタップする。

故郷の人々

作曲：フォスター

訳詞：緒園凉子

C F C G ○●○○ ○○○	C7 F C G ○○○ ○●○	Dm F C G D ○○○○ ○○○○	F F C G ●○○○ ○○○	F#dim E B F# ○○● ○○○	G F C G ○○● ○○○	G7 F C G ○○○ ○○●	Gsus4 F C G ○○● ○○○	Gaug F C G ○○● ○○○	Am F C G D A ○○○○○ ○○○○○
----------------------------------	----------------------------------	--------------------------------------	----------------------------------	--------------------------------------	---------------------------------	----------------------------------	-------------------------------------	------------------------------------	--

Moderato

上段:初級 …… C

F

C

G

下段:上級 …… C

C7

F

F#dim

C

Am

Dm

G7

は る か な る な が れ の か な た に
ゆ め あ わ き た び ね の な み だ よ

C

F

C

G

C

C

C7

F

F#dim

Gsus4

G7

C

い ま も な お や さ し き と も は す め り
ふ る さ と を し の び つ き よ う も さ す る う

G

C

F

G

G7

C

Am

F

G7

Gaug

ゆ め も は か な き た び の そ ら の

C

F

C

G

C

C

C7

F

F#dim

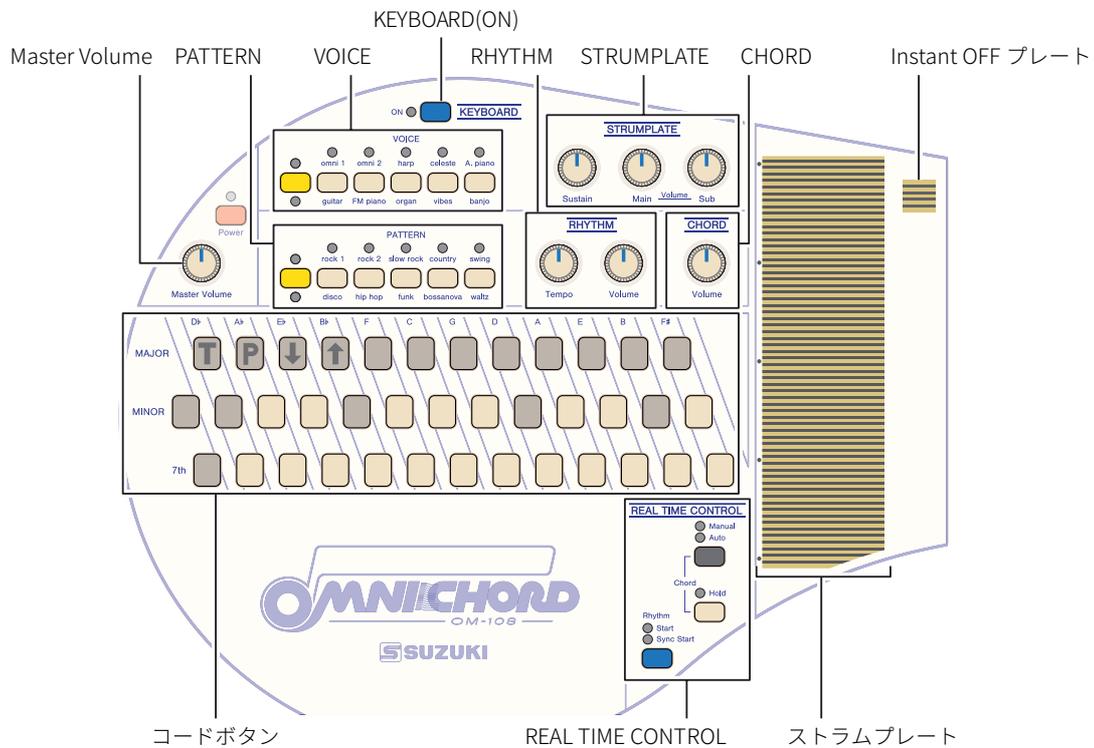
Gsus4

G7

C

ふ る さ と を し た い て き よ う も さ す る う

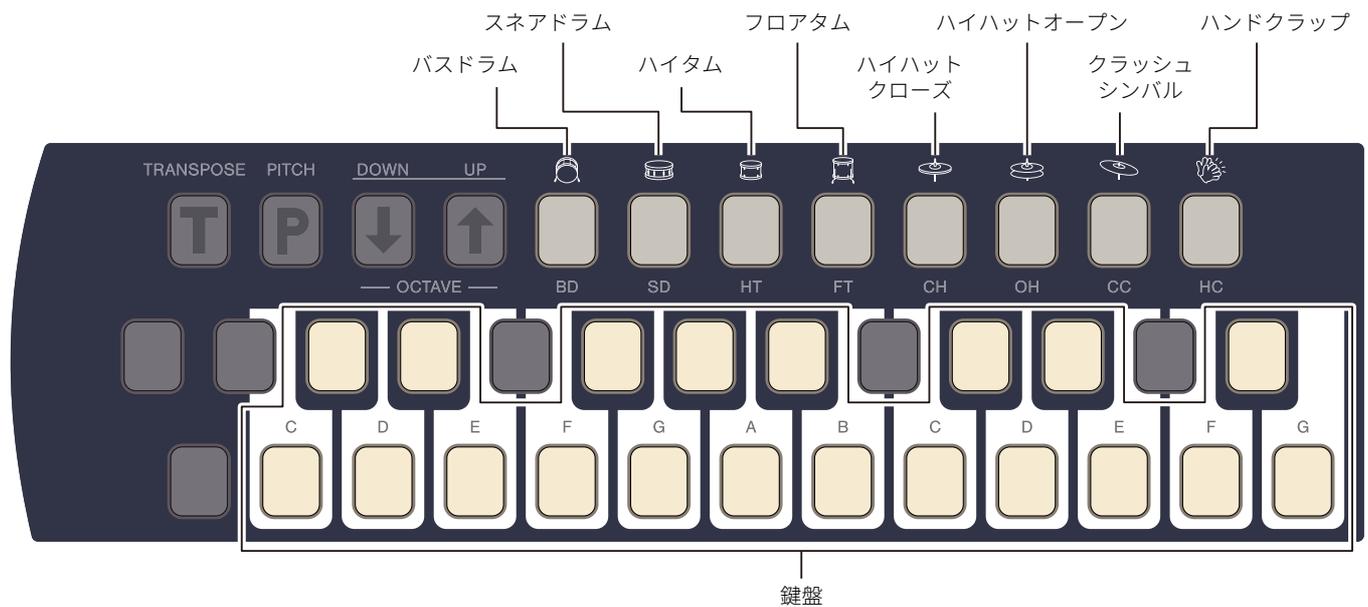
メロディ、打楽器音を演奏する



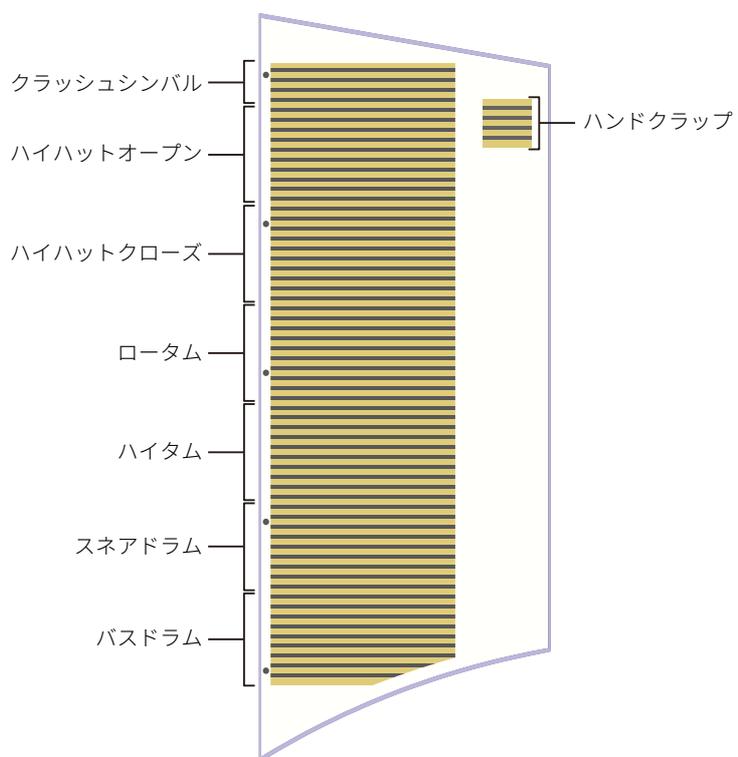
本機はメロディ / 打楽器音を演奏できるキーボード機能を搭載しています。キーボード機能がオンのときは、コードボタンとストラムプレート / Instant OFF プレートが鍵盤 / ドラムセットとして機能します。

鍵盤、ドラムセットの割り当て

■ コードボタン（オーバーレイをセットした状態）



■ ストラムプレート /Instant OFF プレート



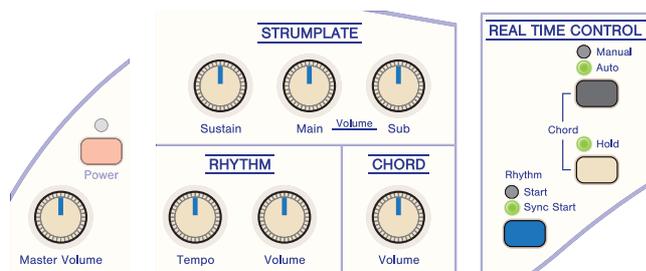
メロディを演奏する

コードボタン（鍵盤）を使ってメロディを演奏します。

Tips

- 付属のオーバーレイをコードボタンの上にセットすると、演奏中に鍵盤の配列を確認できます。

1 各機能を以下のとおり設定する。



つまみ / ボタン		設定
[Master Volume]		中央
[STRUMPLATE]	[Sustain]	中央
	[Main Volume]	中央
	[Sub Volume]	中央
[RHYTHM]	[Tempo]	中央
	[Volume]	中央
[CHORD]	[Volume]	中央
[REAL TIME CONTROL]	[Chord Manual/Auto]	Auto
	[Chord Hold]	有効（ランプ点灯）
	[Rhythm Start/Sync Start]	Sync Start

2 [KEYBOARD (ON)] ボタンを押して、ランプを点灯させる。

キーボード機能がオンになります。

3 [VOICE] ボタンで音色を選ぶ（17 ページ）。

4 [PATTERN] ボタンでリズムを選ぶ（19 ページ）。

5 コードボタン（鍵盤）を使って演奏する。

6 リズムに合わせて演奏するには、[Rhythm Start/Sync Start] ボタンを押して「Start」に切り替える。

Tips

- キーボードの音量は、[STRUMPLATE Main Volume] つまみと [STRUMPLATE Sub Volume] つまみで調整します。
- 音域を 1 オクターブずつ上下させることができます（オクターブシフト）（36 ページ）。

打楽器音を鳴らす

コードボタンとストラムプレート / Instant OFF プレートでは動作が少し異なります。

演奏する内容に合わせて使い分けてください。

コントローラー	リズム再生中	リズム停止中
コードボタン	押した瞬間のみ打楽器音が鳴る。	押した瞬間のみ打楽器音が鳴る。
ストラムプレート / Instant OFF プレート	触れるとリズムに合わせて打楽器音が鳴る。（触れている間は打楽器音が連続して鳴る。）	触れた瞬間のみ打楽器音が鳴る。

Tips

- 打楽器音の音量は、[RHYTHM Volume] つまみで調整します。

キーボード機能に関する補足

キーボード機能がオンのときは、音色や一部の機能の動作が通常時と異なります。

■ omni 1/omni 2 の音色

音色について詳しくは、「各音色の解説」(50 ページ)をご覧ください。

キーボード機能	omni 1		omni 2	
	Main	Sub	Main	Sub
オフ (通常時)	Mellow Pulse	Tremolo Pulse	Mellow Pulse	Synth Strings
オン	Constant Mellow Pulse	Constant Mellow Pulse (Upper Octave)	Mellow Pulse	Mellow Pulse (Upper Octave)

■ 音色と発音方式

キーボード機能がオンのときは、「omni 1」はモノフォニック、ほかの音色はポリフォニックで出力されます。

モノフォニック: 和音を出力できない。(最後に押したボタンの 1 音のみが出力される。)

ポリフォニック: 和音を出力できる。

Tips

- モノフォニックでは、たとえば「ド」を押しながら「レ」を押すと、瞬時に「ド」から「レ」の発音に切り替わります。その状態で「レ」を離すと再び「ド」が発音されます。「ド」を押しながら「レ」を連打することで、「ド」と「レ」の速弾が可能になります。

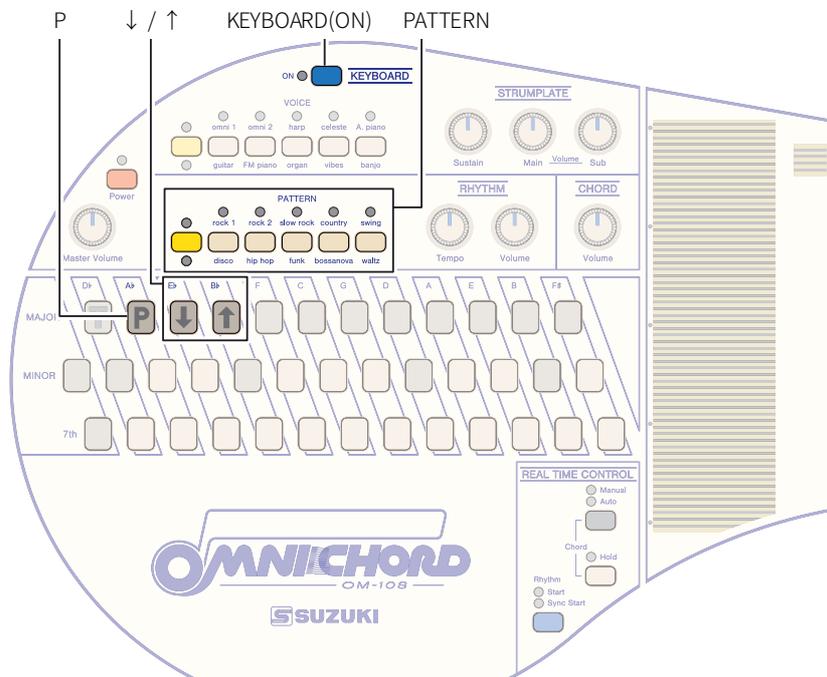
■ 各コントローラーの機能

キーボード機能がオンのときは、以下のコントローラーの機能が通常時と異なります。

コントローラー	機能 (キーボード機能: オン)
コードボタン	鍵盤 / ドラムセット、マスターチューン、トランスポーズ、オクターブシフト
ストラムプレート	ドラムセット
Instant OFF プレート	ドラムセット (ハンドクラップ)
[RHYTHM Volume] つまみ	リズムと打楽器音の音量調節
[CHORD Volume] つまみ	機能しない
[Chord Manual/Auto] ボタン	機能しない
[Chord Hold] ボタン	機能しない
[Rhythm Start/Sync Start] ボタン	「Sync Start」によるリズム再生は機能しない

さまざまな演奏機能

音程を調整する（マスターチューン）



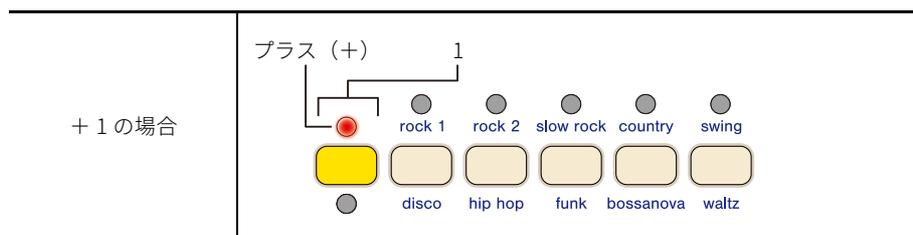
ほかの楽器とアンサンブルするとき、本機の音程を調整します。
A の音の周波数を 1Hz ずつ変化させて、全体の調律を行います。

対象機能	すべて
設定値	- 6 (434Hz) ~ 0 (440Hz) ~ + 6 (446Hz)
工場出荷時の設定	0 (440Hz)

- 1 [KEYBOARD (ON)] ボタンを押して、ランプを点灯させる。
- 2 コードボタンの [P] ボタンを押しながら、[↑] または [↓] ボタンを押す。
現在の A の音（基準音）が鳴ります。マスターチューン設定は [PATTERN] ボタンのランプ点灯で表示されます。

表示例

- 4 の場合	<p>マイナス (-) 4</p>
0 の場合	<p>0</p>

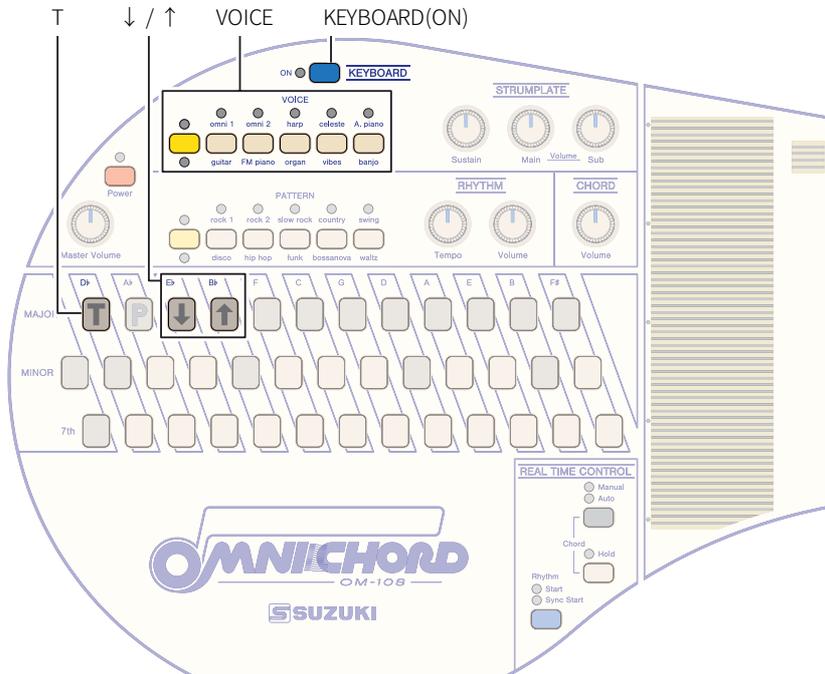


Tips

- 現在のマスターチューン設定を確認するには、「P」ボタンのみを押してください。
- 工場出荷時の設定に戻すには、「P」ボタンを押しながら [↑] と [↓] ボタンを同時に押してください。

3 設定を終了するには、[KEYBOARD (ON)] ボタンを押して、ランプを消灯させる。

半音ずつ移調する（トランスポーズ）



押さえるコードはそのままキーを半音ずつ上下させます。

弾き語りの際など楽譜のキーでは歌いにくい場合に、押さえるコードは楽譜のまま、声に合わせてキーを変更できます。

対象機能	コード、ストラムプレート
設定値	-6 ~ 0 ~ +6
工場出荷時の設定	0

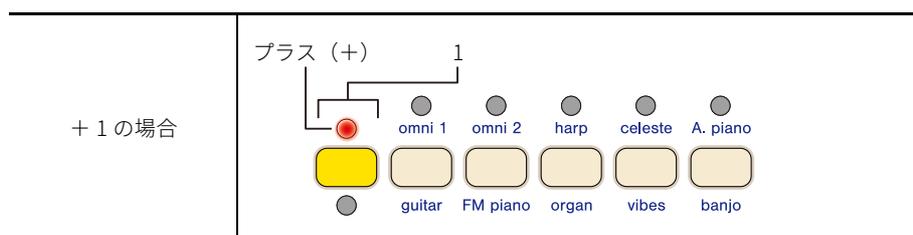
Note

- キーボード機能は移調されません。

- 1 [KEYBOARD (ON)] ボタンを押して、ランプを点灯させる。
- 2 コードボタンの [T] ボタンを押しながら、[↑] または [↓] ボタンを押す。
トランスポーズ設定は [VOICE] ボタンのランプ点灯で表示されます。

表示例

-4 の場合	<p>マイナス (-) 4</p> <p>omni 1 omni 2 harp celeste A. piano guitar FM piano organ vibes banjo</p>
0 の場合	<p>0</p> <p>omni 1 omni 2 harp celeste A. piano guitar FM piano organ vibes banjo</p>

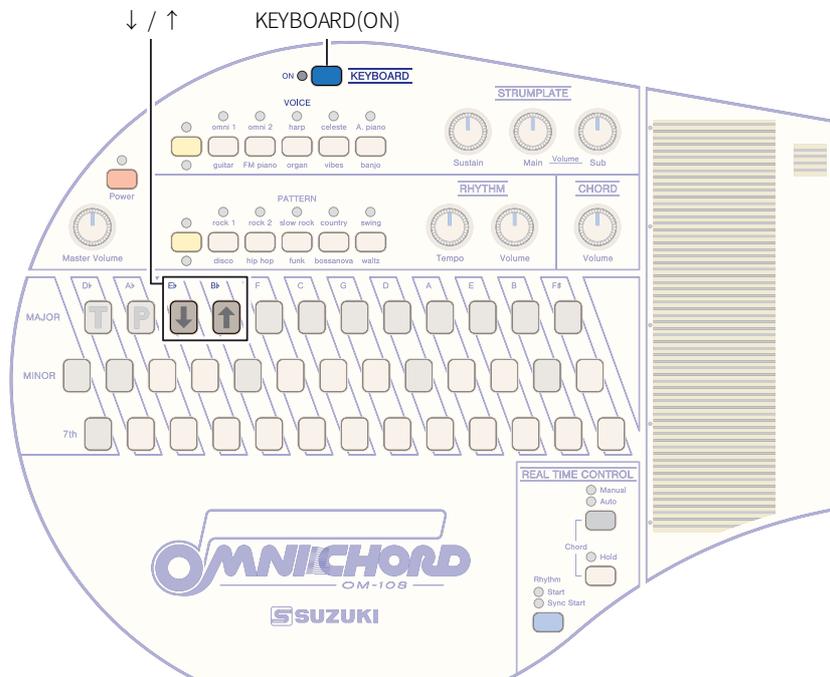


Tips

- 現在のトランスポーズ設定を確認するには、「T」ボタンのみを押してください。
- 工場出荷時の設定に戻すには、「T」ボタンを押しながら [↑] と [↓] ボタンを同時に押してください。

- 3** 設定を終了するには、[KEYBOARD (ON)] ボタンを押して、ランプを消灯させる。

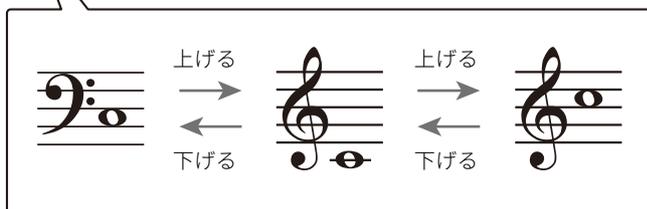
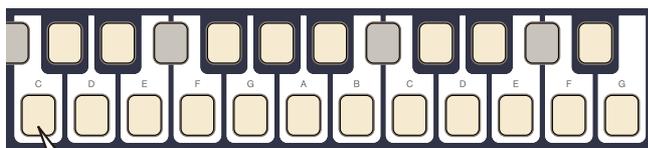
キーボードの音域を変更する（オクターブシフト）



キーボード機能のコードボタン（鍵盤）の音域を1オクターブずつ上下させます。

対象機能	キーボード機能（鍵盤）
設定値	低、標準、高
工場出荷時の設定	標準

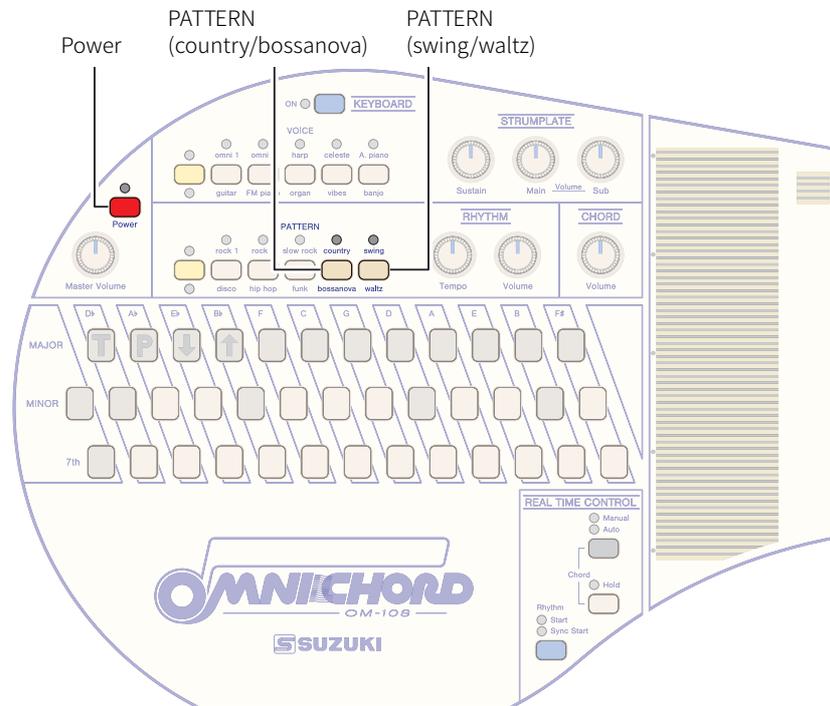
- 1 [KEYBOARD (ON)] ボタンを押して、ランプを点灯させる。
- 2 1オクターブ上げるには[↑]ボタンを押す。
1オクターブ下げるには[↓]ボタンを押す。
コードボタン（鍵盤）を押すと、現在の音域で音が鳴ります。



Tips

- ・工場出荷時の設定に戻すには、[↑]と[↓]ボタンを同時に押してください。
- ・付属のオーバーレイをコードボタンの上にセットすると、鍵盤の配列を確認できます。

OM-84 のリズム音色を再現する（クラシックモード）



OM-84 のリズム音色を本機で再現することができます。

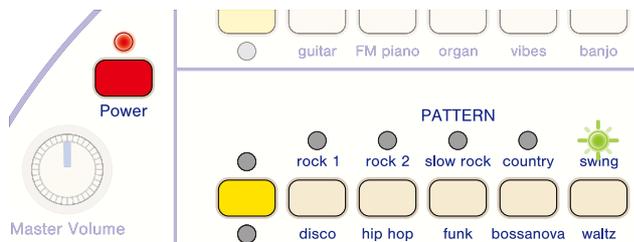
Tips

- OM-84 は 80 年代らしい特徴的なリズム音色を持ち、歴代オムニコードのなかでも根強い人気があります。

対象機能	リズム音色
設定値	標準モード (OM-108)、クラシックモード (OM-84)
工場出荷時の設定	標準モード (OM-108)

■ クラシックモード (OM-84) に切り替える

- 1 電源が入っている場合は、電源を切る (11 ページ)。
- 2 [PATTERN (swing/waltz)] ボタンを押しながら、[Power] ボタンを押す。
- 3 [PATTERN (swing/waltz)] ボタンのランプが点滅したら、ボタンを離す。

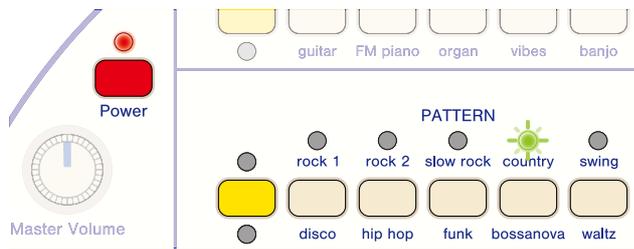


クラシックモード (OM-84 のリズム音色) に切り替わります。

■ 標準モード (OM-108) に切り替える

- 1 電源が入っている場合は、電源を切る (11 ページ)。
- 2 [PATTERN (country/bossanova)] ボタンを押しながら、[Power] ボタンを押す。

3 [PATTERN (country/bossanova)] ボタンのランプが点滅したら、ボタンを離す。



標準モード (OM-108 のリズム音色) に切り替わります。

MIDI

MIDI (Musical Instrument Digital Interface) は、電子楽器やシーケンサーなどの機器どうして情報をやり取りするための規格です。世界共通規格につき、異なるメーカーの機器を接続することができます。

本機の MIDI は、「コードボタンを押した (離した)」、「ストラムプレートに触れた (離した)」というコントロール情報をはじめ、音量、サステイン、テンポなどの情報を送信します。

* MIDI は社団法人音楽電子事業協会 (AMEI) の登録商標です。

■ 本機の MIDI OUT 端子でできること

本機の MIDI OUT 端子と MIDI 機器を接続すると、MIDI データを MIDI 機器に送信できます。

(使用例)

- MIDI 機器 (シンセサイザー、デジタルピアノなど) の音源を用いて演奏する。
- MIDI 機器 (アレンジャーキーボード、シーケンサーなど) と同期させて演奏する。
- 本機での演奏をシーケンサーやパソコン (DAW など) に記録する。

■ MIDI チャンネルとは

MIDI には 1 ~ 16 の MIDI チャンネルがあり、演奏情報を 16 のチャンネルに分けて 1 本の MIDI ケーブルで伝送します。

本機は 5 つのチャンネルを使って、コードボタンやストラムプレートなどの演奏情報を送信します。

MIDI データを MIDI 機器に正しく伝送するには、送信側 (本機) と受信側 (MIDI 機器) のチャンネルを合わせる必要があります。詳しくは「MIDI インフォメーション」(40 ページ) をご覧ください。

■ MIDI クロックとは

接続した機器どうしてテンポを同期させるために、一定の間隔で伝送される信号のことです。

本機はリズムのテンポに同期した MIDI クロックを送信します。

これにより本機のテンポに合わせて、MIDI 機器 (アレンジャーキーボード、ドラムマシンなど) で自動伴奏やオートリズムを再生できます。

MIDI 送信項目を設定する

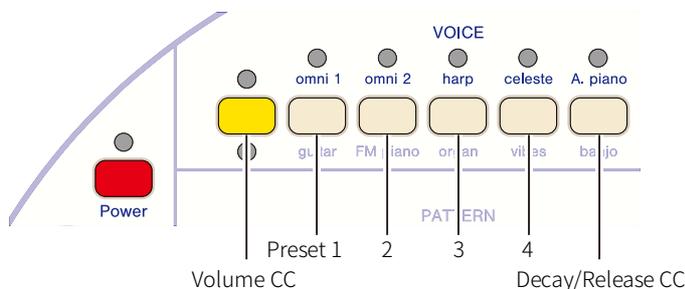
本機の MIDI 送信設定を行います。

Tips

- 本機と MIDI 機器 (アレンジャーキーボードなど) の接続については、「オーディオ機器や MIDI 機器を接続する」(7 ページ) をご覧ください。
- MIDI 受信設定については、お使いの MIDI 機器の取扱説明書をご覧ください。

1 電源が入っている場合は、電源を切る (11 ページ)。

2 設定したい項目の [VOICE] ボタンを同時に押しながら、[Power] ボタンを押す。
各項目について詳しくは「MIDI インフォメーション」(40 ページ) をご覧ください。

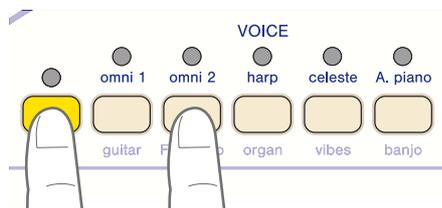


MIDI 送信項目	設定値	工場出荷時の設定
Volume CC	On (ボタンを押しているとき) Off (ボタンを押していないとき)	Off
Preset (MIDI 送信プリセット)	Preset 1 ~ 4	Preset 1

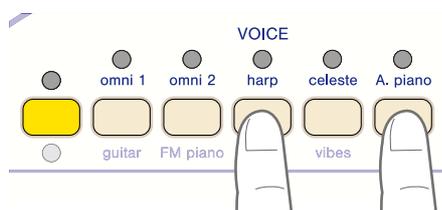
MIDI 送信項目	設定値	工場出荷時の設定
Decay/Release CC	On (ボタンを押しているとき) Off (ボタンを押していないとき)	Off

設定例：

「Volume CC: On」、「Preset 2」、「Decay/Release CC: Off」に設定する場合



「Volume CC: Off」、「Preset 3」、「Decay/Release CC: On」に設定する場合

**Note**

- Volume CC または Decay/Release CC の設定のみを変更する場合も、Preset 1 ~ 4 いずれかの [VOICE] ボタンを同時に押してください。Volume CC または Decay/Release CC の [VOICE] ボタンのみを押しても設定を変更できません。

- 3** 該当 [VOICE] ボタンのランプが点滅したら、ボタンを離す。
設定が切り替わります。

Note

- MIDI 機器からのみ音を出すには、[Master Volume] つまみで本機の音量を最小にしてください。[SPEAKER (ON/OFF)] スイッチ (7 ページ) では操作できません。

MIDI インフォメーション

■ システム / リアルタイムメッセージ

メッセージ	MIDI 送信プリセット		説明
	Preset 1 ~ 3	Preset 4	
Clock (F8)	○	×	本機のリズムのテンポに同期し、[RHYTHM Tempo] つまみに連動します。
Start (FA)	○	×	リズムの開始時に送信されます。
Stop (FC)	○	×	リズムの停止時に送信されます。

○: Yes、×: No

■ チャンネルメッセージ

チャンネル	ノートメッセージ	Control Change			MIDI 送信プリセット			
		Volume (7)	Release (72)	Decay (75)	Preset 1	Preset 2	Preset 3	Preset 4
CH1	Main Voice *1	○*2	○*3	○*3				
CH2	Chord	○*2	×	×				×
CH3	Bass	○*2	×	×				×
CH4	Sub Voice *1	○*2	○*3	○*3	×			×
CH10	Drum	○*2	×	×	×	×		×

○: Yes、×: No

- *1: キーボード機能がオンのときは、「omni 1」の音声はモノフォニックで出力されますが、MIDI では押されたすべてのキーのノートメッセージを送信します。
- *2: MIDI 送信項目 (39 ページ) で「Volume CC」を「On」に設定時に送信します。[STRUMPLATE Volume] つまみ、[RHYTHM Volume] つまみ、[CHORD Volume] つまみの操作に連動します。演奏中に音量バランスを調節したり消音したりすることができます。MIDI 機器によってはこの機能に対応していない場合があります。
- *3: MIDI 送信項目 (39 ページ) で「Decay/Release CC」を「On」に設定時に送信します。[STRUMPLATE Sustain] つまみの操作に連動します。MIDI 機器によってはこの機能に対応していない場合があります。

Decay/Release CC について

Decay/Release CC	説明
On	[STRUMPLATE Sustain] つまみの操作に連動して、Decay/Release CC の値が変化します。ピアノやギターなど、発音してから音が減衰する楽器の音色を演奏するときに有効です。ゲートタイムはストラムプレートに「触れる / 離す」(キーボード機能ではコードボタンを「押す / 離す」) に依存するので、より演奏のニュアンスが表現できます。
Off	[STRUMPLATE Sustain] つまみの操作に連動して、ゲートタイムが変化します。オルガンやストリングスなど、音が減衰しない楽器の音色を演奏するときに、発音してから止まるまでの時間を調節できます。最大にするとゲートタイムは無限大となり、別のコードボタンや Instant OFF プレート进行操作するまで打鍵状態が続きます。ピアノやギターなど減衰系の音色を演奏する際は、減衰途中の「消音」を防ぐことができます。

Tips

- ゲートタイムとは、MIDI データ上のノートオンからノートオフまでの長さです (例: ピアノの鍵盤を押してから離すまで)。

■ MIDI 送信プリセット

本機は 5 つのチャンネルを使って、ノートメッセージ (Main Voice、Chord、Bass、Sub Voice、Drum のコントロール情報) を送信します。

使用するシーンに合わせて MIDI 送信プリセットを設定することで、各ノートメッセージの送信を簡単に制御することができます。

Preset 1 (Accomp and Strum)

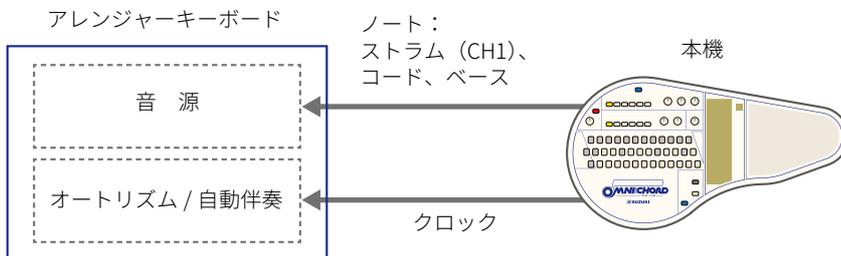
- 送信チャンネル: CH1 ~ 3
マルチティンバーの MIDI 音源に、ストラム (キーボード機能ではメロディ)、コード、ベースの演奏を送信します。

接続例:

アレンジャーキーボードを本機の MIDI クロックに同期させ、アレンジャーキーボードのリズムパターンを走らせつつ、ストラム、コード、ベースを演奏する。

Note

- アレンジャーキーボードの MIDI クロックを「外部」に設定してください。



Tips

- マルチティンバーの MIDI 音源とは、受信した複数のパートを個別に割り当てることができる音源です。複数の音色を同時に鳴らすことができます (例: General MIDI)。

Preset 2 (Accomp and Two Strums)

- 送信チャンネル: CH1 ~ 4
マルチティンバーの MIDI 音源に、ストラム (キーボード機能ではメロディ)、コード、ベースの演奏を送信します。

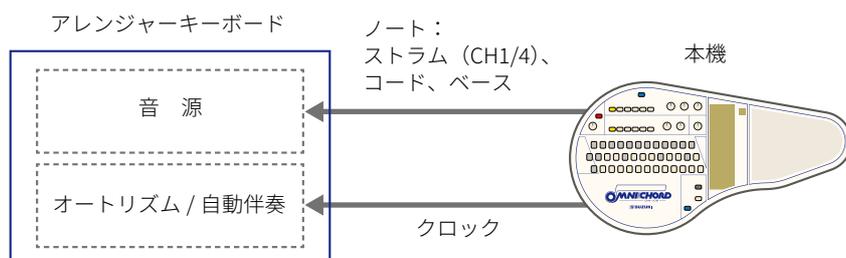
ストラムの演奏はCH1とCH4の両方に送信されるため、MIDI音源側で該当チャンネルに異なる音色を割り当てると、さまざまな効果が得られます。

接続例：

アレンジャーキーボードを本機のMIDIクロックに同期させ、アレンジャーキーボードのリズムパターンを走らせつつ、ストラム（2音色）、コード、ベースを演奏する。

Note

- アレンジャーキーボードのMIDIクロックを「外部」に設定してください。



Preset 3 (All Out)

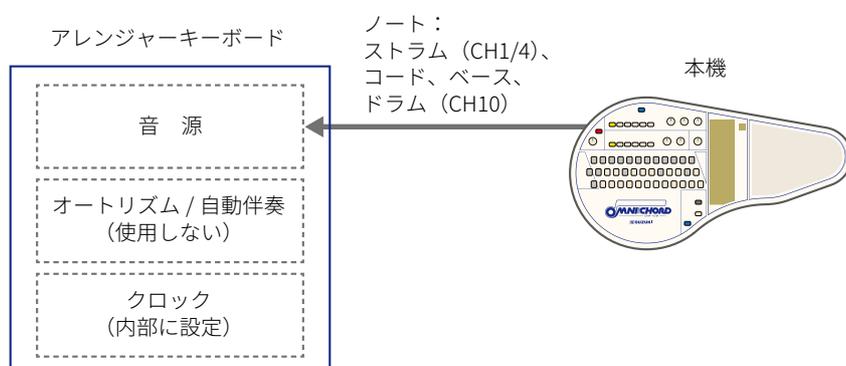
- 送信チャンネル：CH1～4、CH10
マルチティンバーのMIDI音源に、ストラム（キーボード機能ではメロディ）、コード、ベース、ドラムの演奏を送信します。本機がCH10で送信するドラムのノート情報（割り当て）については、「ドラムマップ」（43ページ）をご覧ください。

接続例：

アレンジャーキーボードのオートリズム / 自動伴奏は使用せずに、本機のノートメッセージを適用する。

Note

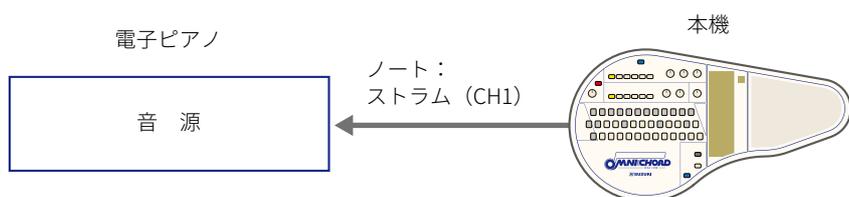
- アレンジャーキーボードのMIDIクロックを「内部」に設定してください。



Preset 4 (Strum Only)

- 送信チャンネル：CH1
ストラム（キーボード機能ではメロディ）の演奏のみを送信します。シングルティンバー（電子ピアノなど）のMIDI音源や、DAWで作った楽曲にストラム演奏を加える場合などに使用します。

接続例：



ドラムマップ

ノートナンバー	オクターブ	ノート	楽器
36	2	C	バスドラム
37	2	D \flat	リムショット
38	2	D	スネアドラム
39	2	E \flat	ハンドクラップ
40	2	E	—
41	2	F	フロアタム
42	2	F \sharp	ハイハットクローズ
43	2	G	—
44	2	G \sharp	—
45	2	A	ロータム
46	2	B \flat	ハイハットオープン
47	2	B	—
48	3	C	ハイタム
49	3	D \flat	シンバル
50	3	D	—
51	3	E \flat	—
52	3	E	—
53	3	F	—
54	3	F \sharp	タンバリン
55	3	G	—
56	3	G \sharp	—
57	3	A	—
58	3	B \flat	—
59	3	B	—
60	4	C	—
61	4	D \flat	—
62	4	D	ハイコンガ (ミュート)
63	4	E \flat	—
64	4	E	—
65	4	F	—
66	4	F \sharp	—
67	4	G	—
68	4	G \sharp	—
69	4	A	—
70	4	B \flat	マラカス
71	4	B	—
72	5	C	—
73	5	D \flat	—
74	5	D	—
75	5	E \flat	クラベス

MIDI インプリメンテーションチャート

Model: OM-108 (Omnichord)

Date: 12-Feb-2024 (Version: 1.0)

Function		Transmitted	Recognized	Remarks
Basic Channel	Default	1 - 3	X	
	Changed	1 - 4, 10	X	
Mode	Default	3	X	
	Messages	X	X	
	Altered	*****	X	
Note Number		12 - 120	X	
	:True Voice	*****	X	
Velocity	Note ON	X	X	
	Note OFF	X	X	
After Touch	Key's	X	X	
	Ch's	X	X	
Pitch Bend		X	X	
Control Change	7	○	X	Volume
	72	○	X	Release
	75	○	X	Decay
Program Change		X	X	
	:True#	*****	X	
System Exclusive	X	X	X	
System Common	:Song Position	X	X	
	:Song Select	X	X	
	:Tune	X	X	
System Real Time	:Clock	○ *1	X	
	:Commands	○ *1	X	
AUX Messages	:All Sounds Off	X	X	
	:Reset All Controllers	X	X	
	:Local On/Off	X	X	
	:All Notes Off	X	X	
	:Active Sense	○	X	
	:Reset	X	X	

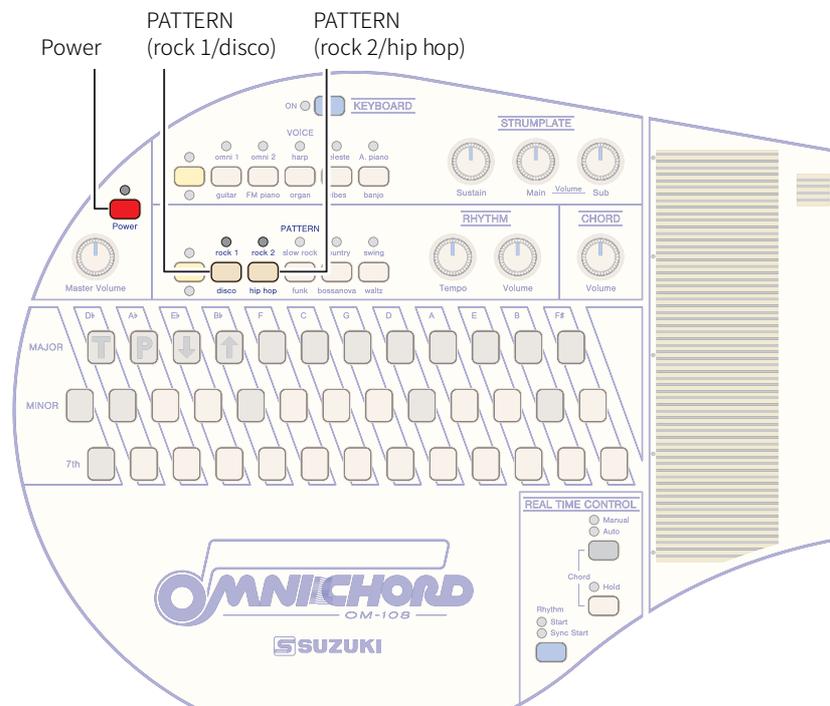
Mode 1: OMNI ON, POLY / Mode 2: OMNI ON, MONO / Mode 3: OMNI OFF, POLY / Mode 4: OMNI OFF, MONO

○: Yes, X: No

*1: MIDI 送信プリセットが Preset 4 (42 ページ) のときは送信しない。

設定する

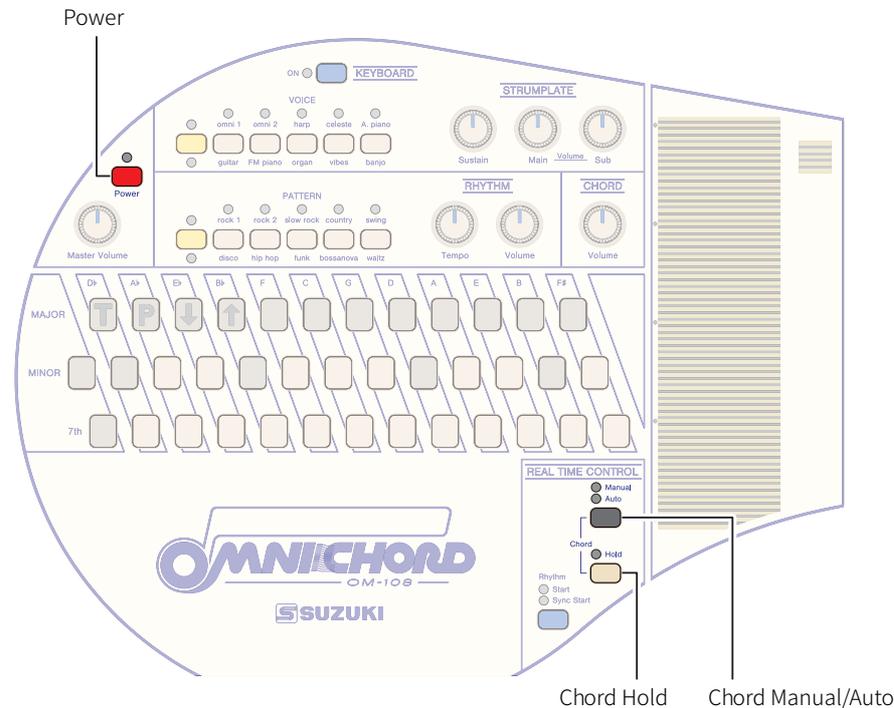
オートパワーオフを有効、無効にする



オートパワーオフの有効 / 無効を設定します。有効に設定した場合、本機を 30 分間操作しないと自動的に電源が切れます。
(工場出荷時の設定 : 有効)

- 1 電源が入っている場合は、電源を切る (11 ページ)。
- 2 オートパワーオフを有効にするには、[PATTERN (rock 1/disco)] ボタンを押しながら、[Power] ボタンを押す。
無効にするには、[PATTERN (rock 2/hip hop)] ボタンを押しながら、[Power] ボタンを押す。
- 3 該当 [PATTERN] ボタンのランプが点滅したら、ボタンを離す。
設定が切り替わります。

電池残量の表示設定



乾電池を使用しているときは、Power ランプで電池残量を確認できます（8 ページ）。

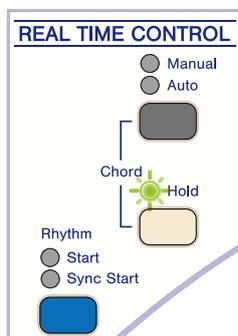
二次電池（Ni-MH）はその特性上、実際の電池残量より少なく認識されることがあります。

二次電池（Ni-MH）を使用する場合や、二次電池使用後にアルカリ乾電池を使用する場合は、電池残量の表示設定を変更してください。

（工場出荷時の設定：アルカリ乾電池）

■ 二次電池（Ni-MH）を使用する場合

- 1 電源が入っている場合は、電源を切る（11 ページ）。
- 2 [Chord Hold] ボタンを押しながら、[Power] ボタンを押す。
Chord Hold ランプが数秒間点滅します。

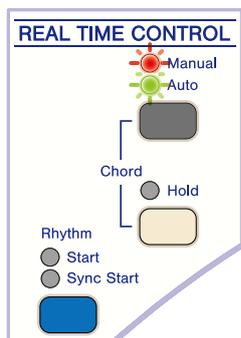


二次電池（Ni-MH）用の電池残量表示に切り替わります。

■ アルカリ乾電池を使用する場合

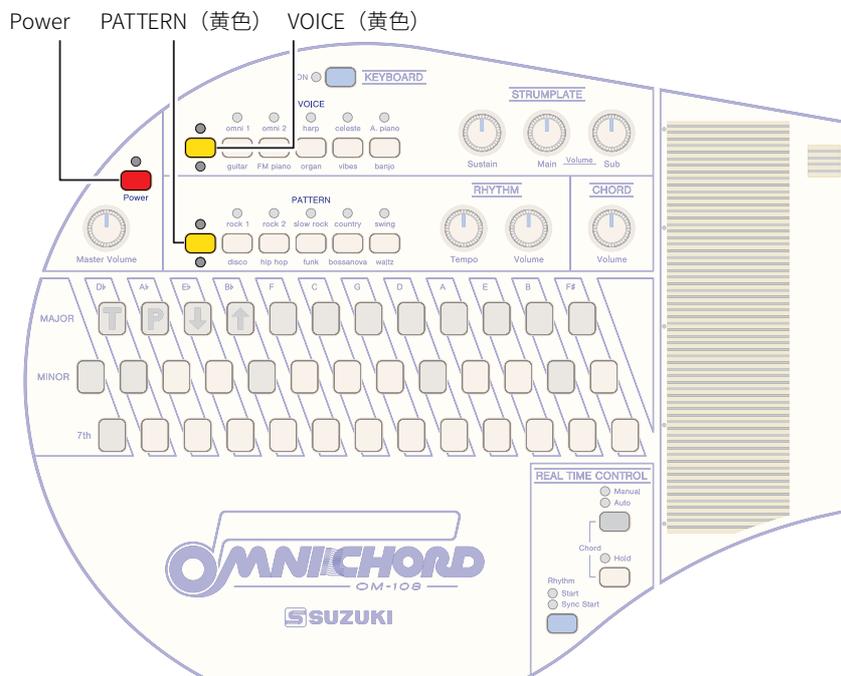
- 1 電源が入っている場合は、電源を切る（11 ページ）。
- 2 [Chord Manual/Auto] ボタンを押しながら、[Power] ボタンを押す。

Chord Manual/Auto ランプが数秒間点滅します。



アルカリ乾電池用の電池残量表示に切り替わります。

工場出荷時の設定に戻す



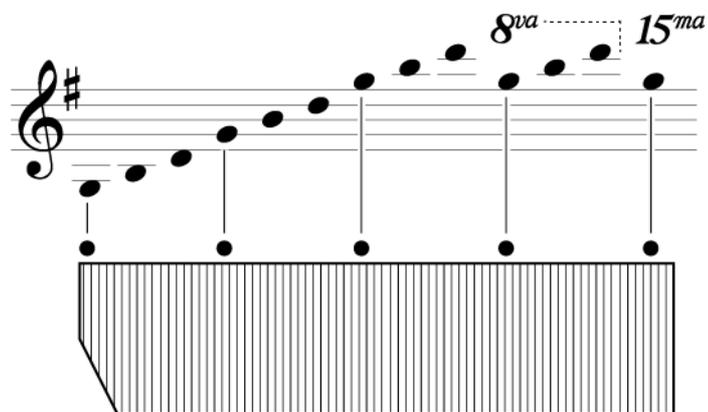
- 1 電源が入っている場合は、電源を切る（11 ページ）。
- 2 [VOICE] および [PATTERN] の左のボタン（黄色）を押しながら、[Power] ボタンを押す。
- 3 左のボタン（黄色）のランプが点滅したら、ボタンを離す。
工場出荷時の設定に戻ります。

付録

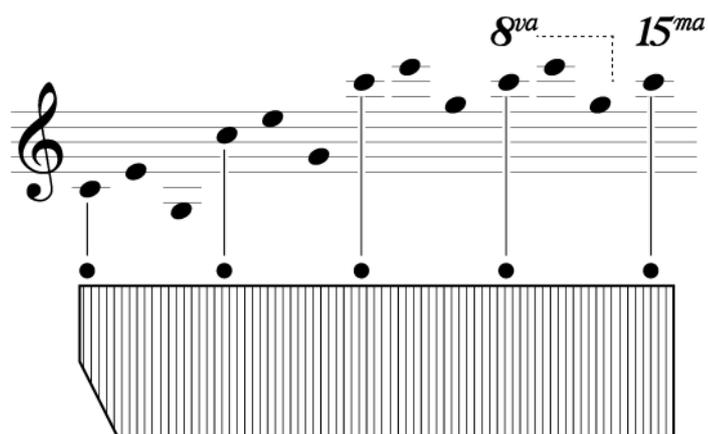
ストラムプレートの音階配列

F #を起点に次のオクターブのFまでを1グループとし、Fを超えた構成音は根音よりも低いオクターブへ折り返して音階を配列しています。

例 : G Major



例 : C Major



各音色の解説

各音色は2種類の音色（メインボイス、サブボイス）から構成されています。

メインボイスは、[VOICE] ボタンに表示されている楽器の音色です。

サブボイスは、メインボイスを引き立てる音色です。選択しているメインボイスにより鳴る音色が異なります。

■ メインボイスとサブボイスの割り当て

VOICE	omni 1	omni 2	harp	celeste	A. piano
Main	Mellow Pulse	Mellow Pulse	Harp	Celeste	A. Piano
Sub	Tremolo Pulse	Synth Strings	Synth Strings	Synth Strings	Synth Strings

VOICE	guitar	FM piano	organ	vibes	banjo
Main	Guitar	FM Piano	Organ	Vibes	Banjo
Sub	Synth Strings (Octave Unison)	Mellow Synth Pad	Synth Strings (Octave Unison)	Synth Strings	Synth Strings

■ メインボイスの種類

音色の名前	説明	音の持続
Mellow Pulse (メローパルス)	1980年代に発売されたオムニコード「OM-84」の音源方式を回路も含めて忠実に再現した音色です。	
Harp (ハーブ)	オーケストラで使われるペダル付きハーブの音色です。ペダル操作で行われるコードチェンジを本機ではコードボタンで行います。	
Celeste (チェレスタ)	鍵盤式の鉄琴「チェレスタ」の音色です。星が瞬くような優しい響きが特徴的です。	
A. Piano (アコースティックピアノ)	コンサートホールで見られるグランドピアノの音色です。鍵盤では高度な高速アルペジオも、ストラムプレートならば簡単に弾くことができます。	
Guitar (ギター)	スチール弦が張られたアコースティックギターの音色です。	
FM Piano (FM ピアノ)	1980年代に発売されたデジタルシンセサイザーの電気ピアノ音源を模した音色です。バラードに最適です。	
Organ (オルガン)	ハモンドオルガンでよく使われる、5度音程のドローバー設定とコーラス効果を組み合わせた音色です。	○
Vibes (バイブス)	共鳴管に回転するファンを備えた金属音板楽器、ピブラフォンの音色です。ストラムプレートをスライドするのではなく、複数の指で同時にタップする奏法がお勧めです。	
Banjo (バンジョー)	カントリー音楽でよく使われる5弦のレゾネーター付きバンジョーの音色です。ストラムプレートをスライドするのではなく、複数の指で素速く交互にタップする奏法がお勧めです。	

■ サブボイスの種類

音色の名前	説明	音の持続
Tremolo Pulse (トレモロパルス)	Mellow Pulseと同じく「OM-84」の音源方式を回路も含めて再現した、トレモロ効果付きの音色です。	
Synth Strings (シンセストリングス)	シンセサイザーによる弦楽合奏を模した音色です。本物と比較するとソフトかつ平坦な特性で、ほかの音色と調和しやすくなっています。	○
Synth Strings (Octave Unison) (シンセストリングス (オクターブユニゾン))	シンセストリングスに異なるオクターブ音を加えた、オクターブユニゾンです。より荘厳な響きが得られます。	○
Mellow Synth Pad (メロウシンセパッド)	空間を包み込むソフトな音色のシンセパッドです。ほかの音色と交ぜて、より重厚な雰囲気演出します。	○

困ったときは

不具合が生じた場合は、以下の項目を確認してください。
 また工場出荷時の設定に戻す（48 ページ）と解決することがあります。
 それでも解決しないときは、弊社にお問い合わせください。

状況	原因	解決策
電源が入らない	電池の向きが間違っている。	電池を正しい向き（極性）でしっかりとセットしてください（8 ページ）。
	電池残量が足りない。	すべて新しい電池に交換してください。
	AC アダプターが正しく接続されていない。	AC アダプターをしっかりと接続してください（9 ページ）。
電源が勝手に切れる	オートパワーオフが有効になっている。	オートパワーオフを有効に設定している場合、本機を 30 分間操作しないと自動的に電源が切れます。必要に応じて、無効にしてください（45 ページ）。
音が鳴らない	音量が最小になっている。	[Master Volume] および各機能の [Volume] つまみで音量を調節してください。
音量が小さい	電池残量が少ない。	電池残量が少なくなると音量が小さくなる場合があります。この場合はすべて新しい電池に交換してください。
	つまみの音量が小さくなっている。	[Master Volume] および各機能の [Volume] つまみで音量を調節してください。
	二次電池（Ni-MH）を使用している。	二次電池（Ni-MH）の特性上、音量が小さくなる場合があります。必要に応じて、アルカリ乾電池または AC アダプターを使用してください（9 ページ）。
Power ランプが暗い	電池残量が少ない。	すべて新しい電池に交換してください。
	二次電池（Ni-MH）を使用している。	二次電池（Ni-MH）の特性上、実際の電池残量より少なく認識されることがあります。二次電池（Ni-MH）を使用する場合は、電池残量の表示設定を変更してください（46 ページ）。
Power ランプが点滅する	電池残量が足りない。	すべて新しい電池に交換してください。そのまま使用すると、間もなく電源が切れます。
ストラムプレートや Instant OFF プレートが反応しない	電源投入時にストラムプレートまたは Instant OFF プレートに触れていた。	ストラムプレートおよび Instant OFF プレートに触れずに電源を入れ直してください（10 ページ）。
Instant OFF プレートでリズムが停止しない	[Rhythm Start/Sync Start] ボタンで「Start」が選択されている。	[Rhythm Start/Sync Start] ボタンで「Sync Start」を選択してから、Instant OFF プレートをタップしてください。
コード音が鳴り続ける	コードホールドが有効になっている。	Instant OFF プレートに触れる、または [Chord Hold] ボタンでコードホールドを無効（ランプ消灯）にしてください。
ノイズが大きい	本機はアナログ回路を多用しているため、ノイズが大きく聞こえることがあります。	[Master Volume] つまみで音量を小さく設定し、[STRUMPLATE Volume]、[RHYTHM Volume]、[CHORD Volume] つまみで各音量を大きく設定すると、ノイズが軽減される場合があります。
スピーカーからの音が途切れる、または音が割れる	電池残量が少ない。	[Master Volume] つまみで音量を小さくするか、すべて新しい電池に交換してください。 安定して大音量で鳴らしたい場合は、AC アダプターを使用するか、LINE OUT (MONO) 端子に外部スピーカーを接続することをお勧めします。

ストラップピンの取付方法

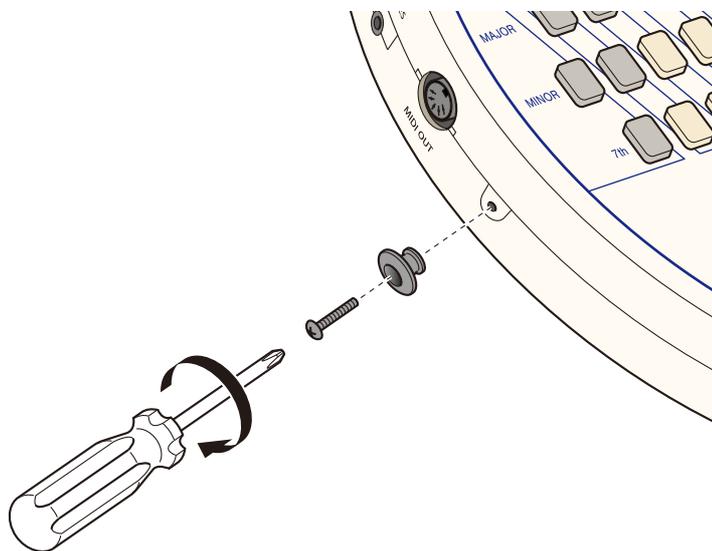
専用ストラップピン「OSB-108」（別売）を使用すると、市販のギターストラップを本機に装着できます。

準備するもの

- 専用ストラップピン「OSB-108」（ピン / ネジ各 2 個のセット）
- プラスドライバー（No.2）

⚠ 注意

- ❶ 専用ストラップピンは小さなお子様の手が届かない場所に保管してください。
- ❶ ネジの先端で手指を傷つけないように注意してください。
- ❷ 市販のストラップピンを使用しないでください。取付穴の破損につながります。
- ❶ ネジを締めすぎたり脱着を繰り返したりすると、取付穴の破損につながります。
- ❶ 定期的にネジを確認し、緩みがある場合は締めなおしてください。ネジが緩んでいると本機が落下する恐れがあります。
- ❶ お使いのギターストラップの取扱説明書も併せてご覧ください。



- 1 ピン穴にネジを入れ、ネジの先端を本体のストラップピン取付穴（左右いずれか）に合わせる。
- 2 ドライバーを右に回してネジを締める。
ストラップピンと本体の間隙がなくなったら締めるのをやめます。
- 3 同様に、もう一方の取付穴にストラップピンを取り付ける。
ギターストラップを装着する前に、ストラップピンがしっかりと固定されていることを確認してください。

主な仕様

コード

- ボタン: 38 個
- 種類: Major、minor、7th、Major 7th、minor 7th、Augmented、diminished、suspended 4th、add 9th

ボイス

10 音色 (メイン、サブ)、4 オクターブ

リズム

10 パターン

機能

- つまみ: Master Volume、STRUMPLATE (Sustain、Main Volume、Sub Volume)、RHYTHM (Tempo、Volume)、CHORD (Volume)
- ボタン: Power、VOICE (6 個)、PATTERN (6 個)、コード (38 個)、REAL TIME CONTROL (Chord Manual/Auto、Chord Hold、Rhythm Start/Sync Start)、KEYBOARD
- その他: ストラムプレート、Instant OFF プレート、SPEAKER (ON/OFF) スイッチ、マスターチューニング、トランスポート、オクターブシフト

スピーカー

10cm

アンプ出力

4.3W

接続端子

- DC12V/1A
- LINE OUT: モノラル標準
- PHONES: ヘッドホン出力 (ステレオミニ)
- MIDI OUT

電源

AC アダプター (別売) または単 3 形乾電池 ×8 本 (別売)

* 乾電池はアルカリ乾電池を推奨するが二次電池 (Ni-MH) も使用可

消費電力

3.7W

連続作動時間 (乾電池使用時)

約 8 時間

寸法 (幅 × 奥行き × 高さ)

45.7×25.0×5.18cm

質量

1.2kg

付属品

スタートアップガイド (保証書付き) ×1、オーバーレイ ×1

安全上の注意

ご使用前に、この「安全上の注意」をよくお読みください。
ここに示した注意事項は安全に関する重要な内容を記載しています。必ずお守りください。
本書では、危険や損害の程度を「警告」と「注意」に区分して説明しています。



警告

この表示内容を無視した取扱いをすると、「死亡する可能性や重症を負う可能性」が想定されます。



注意

この表示内容を無視した取扱いをすると、「傷害を負う可能性や物的障害が発生する可能性」が想定されます。



警告

電源



電源は必ず AC100V ~ 240V を使用する。
本機を海外で使用する場合は、お買い上げ店または最寄りの鈴木楽器販売にご相談ください。



必ず専用 AC アダプターを使用する。



電源コードを無理に曲げたり、電源コードに重いものを載せたりしない。
電源コードが破損すると、感電や火災の原因になります。



タコ足配線などの無理な配線をしない。
電源タップなどの容量（ワット / アンペア）を超えて配線すると、発熱によりコードの被膜が溶けて、感電や火災の原因になります。

設置



次のような場所に設置したり、保管したりしない。

- 温度や湿度が極端に高くなる場所（直射日光下、暖房器具や発熱する機器の近くなど）
- 水気の近く（風呂場、洗面台、濡れた床など）
- 雨や水滴、水蒸気などが直接あたる場所
- ホコリや振動の多い場所
- 転倒や落下の可能性のある不安定な場所



本機の上や近くに、液体の入った容器（花びんなど）、殺虫剤、香水、アルコール類、マニキュア、スプレー缶などを置かない。
表面に液体が付着した場合は、乾いた布ですぐに拭き取ってください。

取扱い



本機および AC アダプターを分解したり、改造したりしない。



自分自身で修理や部品交換をしない。
取扱説明書に記載がないことは絶対にしないでください。修理や部品交換が必要な場合は、お買い上げ店または最寄りの鈴木楽器販売にご相談ください。



本機を落下させたり、強い衝撃を与えたりしない。



本機内部に液体（水、ジュースなど）や異物（燃えやすいもの、硬貨、針金など）が入らないように注意する。



お子様の取扱いやいたずらに注意する。
お子様が使用する際は、必ず大人の監視 / 指導のもと行ってください。



電池が液漏れした場合には素手で液体を触らない。
液が体に触れたり目に入ったりするとやけどや失明のおそれがあります。万一触れてしまった場合はこすらずに水洗いし、ただちに医師の治療を受けてください。



大きな音量で長時間使用しない。
本機および外部機器（アンプ、スピーカー、ヘッドホンなど）の組合せや設定によっては、聴覚障害を生じる恐れがある大きな音が出力されます。万一、聴力低下や耳鳴りを感じた場合は、すぐに使用をやめて専門医にご相談ください。



最初は小さい音量に設定する。
はじめから音量を上げ過ぎてしまうと、突然大音量で再生されてしまいます。最初は小さい音で、徐々に音量を上げて調整してください。



次のような異常が生じた場合は、すぐに電源を切り、AC アダプターをコンセントから外す。

- AC アダプターまたは電源コードが破損した
- 煙や異臭が発生した
- 本機内部に液体や異物が入った
- 本機が雨や湿気で濡れた
- 本機に何らかの故障が生じた

そのまま使用を続けると、感電や火災、故障の原因になります。お買い上げ店または最寄りの鈴木楽器販売にご相談ください。



注意

電源



AC アダプターを抜き差しするときは電源プラグを持つ。
電源ケーブルを引っ張ると、端子やコードが破損する恐れがあります。



長時間使用しないときは、AC アダプターをコンセントから外す。



落雷の恐れがあるときは、AC アダプターをコンセントから外す。



AC アダプターおよび電源プラグのゴミやほこりを定期的に拭き取る。
ゴミやほこりがたまると、絶縁不良を起こして火災の原因になります。



濡れた手で電源プラグを持たない。

電池



アルカリ乾電池を使用する（推奨）。
マンガン乾電池や二次電池は正常に動作しない場合があります。



同じ種類の電池を使用する。
メーカーや銘柄の異なる電池を交ぜて使用しないでください。



電池を交換するときはすべて入れ替える。



電池の使用推奨期限を守る。
一度も使用していない電池でも、期限切れの電池を使用すると、正常に動作しない場合があります。



電池は正しい向き（極性）で入れる。
逆向きに入れると、発熱、液漏れ、破裂の恐れがあります。



電池はマイナス側から入れる。プラス側から外す。
マイナス側の接点をスプリングに押し当てながら正しく入れてください。誤った入れ方をすると、製品の損傷や、電池の発熱、破裂、発煙、発火などを生じる恐れがあります。



電池の端子部をきれいな状態にする。
乾いた布などで汚れを落としてから使用してください。電池の端子が汚れていると、電池の性能が発揮できず、動作に影響する場合があります。



本機を長時間使用しないときは電池を取り外す。



使用済み電池は居住している市区町村のルールに従って廃棄する。

設置



本機および AC アダプターは風通しの良い、正常な通気が保たれている場所に設置する。



本機に乗ったり、重いものを載せたりしない。



コード / ケーブルの配線が煩雑にならないように注意する。またお子様の手が届かないように配慮する。



本機を移動するときは、電源を切り、すべての接続（AC アダプター、外部機器など）を外す。

取扱い



お手入れをするときは、電源を切り、AC アダプターをコンセントから外す。

使用上の注意

電源

- 接続の際は必ずすべての機器の電源を切ってください。電源が入った状態で接続すると、故障や誤動作の原因になります。
- インバーターやモーターで制御されている製品（冷蔵庫、洗濯機、電子レンジ、エアコンなど）と同じコンセントに接続しないでください。本機の誤動作やノイズ発生の原因になります。コンセントを分けることが難しい場合は、電源ノイズフィルターを取り付けてください。

設置

- テレビやラジオ、無線機器（携帯電話など）、大型トランスを持つ機器（パワーアンプなど）の近くで本機を使用すると、音声や映像にノイズが生じることがあります。その場合は、機器どうしの間隔や方向を調節してください。また使用していない機器の電源を切ってください。

取扱い

- ボタン、つまみ、端子を使用する際に過度の力を加えないでください。故障の原因になります。
- 手入れをするときは、柔らかい布で乾拭きするか、水を含ませた布をかたく絞って汚れを拭き取ってください。プラスチック部の汚れが激しいときは、中性洗剤を含ませた布で汚れを拭き取ってから、柔らかい布で乾拭きしてください。ベンジン、シンナー、アルコール類を使用すると、変形や変色の原因になります。

アフターサービス

- ・付属の「スタートアップガイド」に「保証書」を記載しております。所定の事項の記入および記載内容をご確認のうえ大切に保管してください。
- ・保証書の記載内容によりお買い上げ販売店が修理いたします。その他詳細は保証書をご覧ください。
- ・保証期間が過ぎても、修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- ・アフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げ販売店または弊社にお問い合わせください。

株式会社 鈴木楽器製作所

〒430-0852 静岡県浜松市中央区領家2-25-7 TEL(053)461-2325

事務所移転等のため、住所・電話番号が変わる場合がございます。
最新の情報につきましては、弊社ホームページをご覧ください。
www.suzuki-music.co.jp



お問合せ
フォーム

00457-50058
4208-AMI-MM-307-B